

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Inventor :Kazumasa USHIKI, et al.

Filed :Concurrently herewith

For :MESSAGING SYSTEM

Serial Number :Concurrently herewith

February 4, 2004

Commissioner for Patents  
P.O. Box 1450  
Alexandria, VA 22313-1450

PRIORITY CLAIM AND  
SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT

S I R:

Applicant hereby claims priority under 35 USC 119 from **Japanese** patent application number **2003-029779** filed **February 6, 2003**, a copy of which is enclosed.

Respectfully submitted,



Brian S. Myers  
Reg. No. 46,947

Customer Number:  
026304  
Docket No.: FUJH 20.907

日本国特許庁  
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日  
Date of Application: 2003年 2月 6日

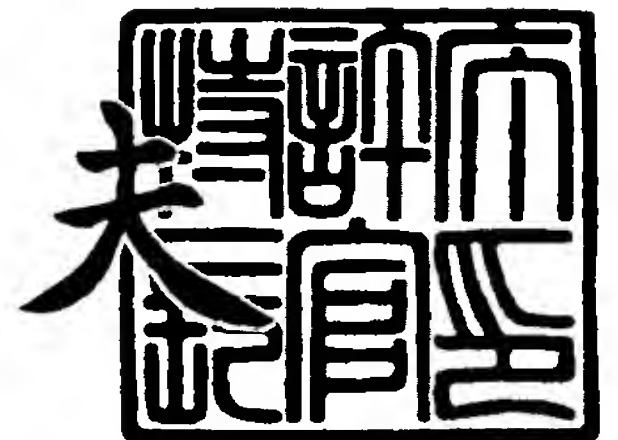
出願番号  
Application Number: 特願2003-029779  
[ST. 10/C]: [JP 2003-029779]

出願人  
Applicant(s): 富士通株式会社

2003年10月24日

特許庁長官  
Commissioner,  
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3088282

【書類名】 特許願

【整理番号】 0253354

【提出日】 平成15年 2月 6日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 H04L 12/00

【発明の名称】 メッセージングシステム

【請求項の数】 10

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 宇式 一雅

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 深沢 光規

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 野村 祐士

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号 富士通株式会社内

【氏名】 五十嵐 洋一郎

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

## 【代理人】

【識別番号】 100094514

【弁理士】

【氏名又は名称】 林 恒徳

## 【選任した代理人】

【識別番号】 100094525

【弁理士】

【氏名又は名称】 土井 健二

## 【手数料の表示】

【予納台帳番号】 030708

【納付金額】 21,000円

## 【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704944

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 メッセージングシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 コンテンツを配信するメッセージングサーバと、ユーザにより使用される端末とを有するメッセージングシステムであって、

前記端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信し、前記メッセージングサーバから配信されたコンテンツを受信し

、  
前記メッセージングサーバは、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記端末に配信する

、  
メッセージングシステム。

【請求項 2】 請求項 1 において、

前記端末は、ユーザに携帯されて該ユーザのユーザ識別情報を記憶する無線タグと無線通信を行うことにより、前記ユーザ識別情報を該無線タグから読み出し、該読み出した該ユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信する、

メッセージングシステム。

【請求項 3】 請求項 2 において、

前記無線タグは、前記ユーザ識別情報に加えて、前記メッセージングサーバの識別情報をさらに記憶し、

前記端末は、前記無線タグから無線通信により前記メッセージングサーバの識別情報を読み出し、該読み出したメッセージングサーバの識別情報に基づいて、前記メッセージングサーバに前記ユーザ識別情報を送信する、

メッセージングシステム。

【請求項 4】 ユーザにより使用される端末と、コンテンツ送信サーバと、ホームエージェントサーバと、ホームエージェントアドレス管理サーバとを有するメッセージングシステムであって、

前記端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を前記ホームエージェ

ントアドレス管理サーバに送信し、前記ホームエージェントアドレス管理サーバから返信されたホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を受信し、該受信したホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該端末を収容するホームエージェントサーバに前記ユーザ識別情報を送信し、前記ホームエージェントサーバから配信されたコンテンツを受信し、

前記ホームエージェントアドレス管理サーバは、コンテンツ配信サービスを受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザを収容するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報とを対応させて保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を前記端末に返信し、

前記コンテンツ送信サーバは、コンテンツを保持し、該コンテンツの配信先のユーザを収容するホームエージェントサーバに、保持したコンテンツを送信し、

前記ホームエージェントサーバは、前記コンテンツ送信サーバから送信されたコンテンツを受信し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記端末に配信する、

メッセージングシステム。

【請求項 5】 請求項 4 において、

前記端末は、ユーザに携帯されて該ユーザのユーザ識別情報を記憶する無線タグと無線通信を行うことにより、前記ユーザ識別情報を該無線タグから読み出し、該読み出した該ユーザ識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバに送信する、

メッセージングシステム。

【請求項 6】 コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持する記憶部と、

ユーザにより使用される端末から送信されるユーザ識別情報を受信する受信部と、

前記受信部により受信された前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記記憶部から読み出し、前記端末に配信する配信部と、

を備えているメッセージングサーバ。

【請求項 7】 コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザにより使用され、配信されたコンテンツを受信する端末であって、

該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を、コンテンツを配信するメッセージングサーバに送信する送信部と、

前記送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記メッセージングサーバから受信する受信部と、

前記受信部により受信されたコンテンツに対して表示、音響出力、または蓄積を含む処理を行う処理部と、

を備えている端末。

【請求項 8】 コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザにより使用され、配信されたコンテンツを受信する端末であって、

該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を、コンテンツを配信するホームページサーバのアドレスを管理するホームページアドレス管理サーバに送信する第 1 送信部と、

前記第 1 送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するホームページサーバのアドレスまたは識別情報を前記ホームページアドレス管理サーバから受信する第 1 受信部と、

前記第 1 受信部により受信されたホームページサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、前記ホームページサーバにユーザ識別情報を送信する第 2 送信部と、

前記第 2 送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記ホームページサーバから受信する第 2 受信部と、

前記第 2 受信部により受信されたコンテンツに対して表示、音響出力、または蓄積を含む処理を行う処理部と、

を備えている端末。

【請求項 9】 コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて記憶する記憶部と、

前記ユーザ識別情報のユーザを収容し、かつ、前記ユーザ識別情報を送信した端末に該ユーザ識別情報のユーザの所望するコンテンツを送信するホームページ

ェントサーバに、前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを送信するコンテンツ送信部と、

を備えているコンテンツ送信サーバ。

【請求項 1 0】 ユーザを収容し、該ユーザの使用する端末に、該ユーザの所望するコンテンツを配信するホームエージェントサーバであって、

ユーザにより使用され、かつ、コンテンツを受信する端末から送信された該ユーザのユーザ識別情報を受信するユーザ識別情報受信部と、

コンテンツ送信サーバから送信された、該ユーザ識別情報に対応するコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、

前記コンテンツ受信部により受信されたコンテンツを前記端末に転送する転送部と、

を備えているホームエージェントサーバ。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【 0 0 0 1 】

#### 【発明の属する技術分野】

本発明は、ユーザの所望する情報、コンテンツ等を、ユーザの移動に伴って、ユーザ近傍に位置する端末に送信するメッセージングシステムに関する。また、本発明は、メッセージングシステムに含まれるメッセージングサーバ、端末、コンテンツ送信サーバ、およびホームエージェントサーバに関する。

##### 【 0 0 0 2 】

#### 【従来の技術】

ユーザの移動に伴って、音声通話の着信先を動的に変更するサービスとして、U P T (Universal Personal Telecommunication) サービスがある。この U P T サービスでは、ユーザの移動に伴って音声通信に使用する端末（電話機等）が変化するとき、ユーザは移動先で使用する端末をサーバに登録する操作を行う。この登録操作としては、ユーザが端末（電話機）のダイヤルやプッシュボタンを直接操作して端末をサーバに登録するか、または、ユーザがカードリーダー等に分の I D カードを読み込ませる操作が想定されている。

##### 【 0 0 0 3 】



コンテンツの更新をユーザに通知し、ユーザに更新されたコンテンツの参照を促すサービスとして、擬似プッシュ型サービスがある。この擬似プッシュ型サービスでは、コンテンツが更新されたことをユーザの端末に通知するサービスが考えられている。すなわち、ユーザは、自分が見たいコンテンツを提供するサーバのURL (Uniform Resource Locator) 等をサーバに登録すると、サーバは、1日に1または複数回 (例えば4回程度)、コンテンツが更新されたかどうかをチェックし、更新されている場合には端末に更新されている事実を通知する。ユーザは、この通知に従って更新されたコンテンツをサーバから得る。

#### 【0 0 0 4】

また、移動通信網等を利用して携帯型通信端末に情報を提供する情報提供装置として、小型で可搬性に優れた携帯型通信端末が、無線通信網または外部情報通信網に接続されたサーバからマルチメディア情報を取得および出力できる情報提供装置がある (例えば特許文献1 参照)。

#### 【0 0 0 5】

この情報提供装置では、携帯型通信端末に電話通信手段と人間-機械インタフェース手段とが設けられる。また、携帯型通信端末用サーバには、マルチメディア情報を蓄積したデータベース、サーバからマルチメディア情報を受信する外部通信処理手段、マルチメディア情報を加工または変換するデータ処理手段、およびマルチメディア情報を携帯型通信端末に転送する転送手段が設けられる。

#### 【0 0 0 6】

さらに、CATVサービスの利便性を高めるシステムとして、CATVを無線により提供するCATVサービスの無線提供システムがある (例えば特許文献2 参照)。

#### 【0 0 0 7】

また、無線タグを使用してユーザ認証を自動的に行うシステムとして、複数の通常仕様の端末 (パソコン) が配置される室内またはフィールド環境において、ユーザが携帯する無線タグと交信することにより、接近した端末の起動およびユーザ認証を自動的に行い、ユーザに応じた作業環境を提供するユーザ認証システムがある (例えば特許文献3 参照)。

## 【 0 0 0 8 】

## 【特許文献 1】

国際公開第 W O 9 7 / 1 4 2 4 4 号パンフレット

## 【 0 0 0 9 】

## 【特許文献 2】

特開 2 0 0 1 - 1 0 3 4 4 6 号公報

## 【 0 0 1 0 】

## 【特許文献 3】

特開 2 0 0 2 - 1 5 7 0 4 0 号公報

## 【 0 0 1 1 】

## 【発明が解決しようとする課題】

しかし、U P T サービスでは、ユーザが行うべき端末の登録操作が面倒である。また、カードリーダ等の装置を使用すると、該装置自体が大きいため、それを搭載できる通信端末は限定されることから、ユーザにとってのサービス利便性は低くなり、サービスの普及に問題がある。さらに、U P T サービスでは、単に音声通話のみが対象となっており、画像等のデータ通信については想定されていない。

## 【 0 0 1 2 】

擬似プッシュ型サービスでは、ユーザが使用する端末が、該ユーザの移動等に伴って動的に変化するといった使用形態は想定されていないため、柔軟な端末登録手続については考慮されていない。また、ユーザ端末の能力に応じたコンテンツ表示などは考慮されていない。

## 【 0 0 1 3 】

本発明は、このような背景に鑑みなされたものであり、その目的は、ユーザの所望するテキスト、画像、動画等の種々のコンテンツないしは情報を、ユーザの移動に伴って、ユーザの近傍に位置する端末に送信できるメッセージングシステムを提供することにある。

## 【 0 0 1 4 】

また、本発明の目的は、端末へのユーザの登録操作を簡便にすることにある。

## 【 0 0 1 5 】

さらに、本発明の目的は、端末の能力や特性に応じてコンテンツを変換し、変換されたコンテンツを端末に配信可能とするメッセージングシステムを提供することにある。

## 【 0 0 1 6 】

## 【課題を解決するための手段】

前記目的を達成するために、本発明によるメッセージングシステムは、コンテンツを配信するメッセージングサーバと、ユーザにより使用される端末とを有するメッセージングシステムであって、前記端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信し、前記メッセージングサーバから配信されたコンテンツを受信し、前記メッセージングサーバは、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記端末に配信するものである。

## 【 0 0 1 7 】

本発明によると、ユーザにより使用される端末は、該ユーザのユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信する。メッセージングサーバは、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツ（テキストデータ、画像データ、動画データ、音声データ等）とを対応させて保持し、端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを端末に配信する。端末は、メッセージングサーバから配信されたコンテンツを受信する。したがって、ユーザが移動しても、ユーザ近傍に位置する端末が該ユーザのユーザ識別情報をメッセージングサーバに送信することにより、該端末にユーザの所望するコンテンツが受信される。受信されたコンテンツは、例えば表示装置に表示されたり、スピーカから音として出力されたり、記憶装置に保存されたりする。これにより、ユーザが移動しても、移動先の端末でコンテンツの配信サービスを受けることができる。

## 【 0 0 1 8 】

好ましくは、前記端末は、ユーザに携帯されて該ユーザのユーザ識別情報を記

憶する無線タグと無線通信を行うことにより、前記ユーザ識別情報を該無線タグから読み出し、該読み出した該ユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信する。これにより、端末へのユーザ（ユーザ識別情報）の登録操作が簡便となる。

#### 【0019】

また、本発明によるメッセージングシステムは、ユーザにより使用される端末と、コンテンツ送信サーバと、ホームエージェントサーバと、ホームエージェントアドレス管理サーバとを有するメッセージングシステムであって、前記端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバに送信し、前記ホームエージェントアドレス管理サーバから返信されたホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を受信し、該受信したホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該端末を収容するホームエージェントサーバに前記ユーザ識別情報を送信し、前記ホームエージェントサーバから配信されたコンテンツを受信し、前記ホームエージェントアドレス管理サーバは、コンテンツ配信サービスを受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザを収容するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報とを対応させて保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を前記端末に返信し、前記コンテンツ送信サーバは、コンテンツを保持し、当該コンテンツの配信先のユーザを収容するホームエージェントサーバに、保持したコンテンツを送信し、前記ホームエージェントサーバは、前記コンテンツ送信サーバから送信されたコンテンツを受信し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記端末に配信するものである。

#### 【0020】

本発明によると、ユーザにより使用される端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報をホームエージェントアドレス管理サーバに送信する。ホームエージェントアドレス管理サーバは、コンテンツ配信サービスを受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザを収容するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報とを対応させて保持する。そして、ホームエージェントアドレス管理サ

サーバは、端末から送信されたユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を端末に返信する。端末は、ホームエージェントアドレス管理サーバから返信されたホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を受信し、該受信したホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該端末を収容するホームエージェントサーバにユーザ識別情報を送信する。コンテンツ送信サーバは、コンテンツを保持し、該コンテンツの配信先のユーザを収容するホームエージェントサーバに、保持したコンテンツを送信する。ホームエージェントサーバは、コンテンツ送信サーバから送信されたコンテンツを受信し、端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを端末に配信する。端末は、ホームエージェントサーバから配信されたコンテンツを受信する。

#### 【 0 0 2 1 】

本発明によると、ユーザが移動しても、ユーザ近傍に位置する端末が該ユーザのユーザ識別子をホームエージェントサーバに送信することにより、該端末にユーザの所望するコンテンツが受信される。これにより、ユーザが移動しても、移動先の端末でコンテンツの配信サービスを受けることができる。

#### 【 0 0 2 2 】

本発明によるメッセージングサーバは、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持する記憶部と、ユーザにより使用される端末から送信されるユーザ識別情報を受信する受信部と、前記受信部により受信された前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記記憶部から読み出し、前記端末に配信する配信部と、を備えている。

#### 【 0 0 2 3 】

本発明による端末は、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザにより使用され、配信されたコンテンツを受信する端末であって、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を、コンテンツを配信するメッセージングサーバに送信する送信部と、前記送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記メッセージングサーバから受信する受信部と、前記受信部により受信された



コンテンツに対して表示、音響出力、または蓄積を含む処理を行う処理部と、を備えている。

#### 【0024】

また、本発明による端末は、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザにより使用され、配信されたコンテンツを受信する端末であって、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を、コンテンツを配信するホームエージェントサーバのアドレスを管理するホームエージェントアドレス管理サーバに送信する第1送信部と、前記第1送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバから受信する第1受信部と、前記第1受信部により受信されたホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、前記ホームエージェントサーバにユーザ識別情報を送信する第2送信部と、前記第2送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記ホームエージェントサーバから受信する第2受信部と、前記第2受信部により受信されたコンテンツに対して表示、音響出力、または蓄積を含む処理を行う処理部と、を備えている。

#### 【0025】

本発明によるコンテンツ送信サーバは、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて記憶する記憶部と、前記ユーザ識別情報のユーザを収容し、かつ、前記ユーザ識別情報を送信した端末に該ユーザ識別情報のユーザの所望するコンテンツを送信するホームエージェントサーバに、前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを送信するコンテンツ送信部と、を備えている。

#### 【0026】

本発明によるホームエージェントサーバは、ユーザを収容し、該ユーザの使用する端末に、該ユーザの所望するコンテンツを配信するホームエージェントサーバであって、ユーザにより使用され、かつ、コンテンツを受信する端末から送信された該ユーザのユーザ識別情報を受信するユーザ識別情報受信部と、コンテンツ送信サーバから送信された、該ユーザ識別情報に対応するコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、前記コンテンツ受信部により受信されたコンテンツを前

記端末に転送する転送部と、を備えている。

### 【0 0 2 7】

#### 【発明の実施の形態】

##### <第 1 の実施の形態>

##### [メッセージングシステムの構成]

図 1 は、本発明の第 1 の実施の形態によるメッセージングシステム 1 0 0 の全体構成を示すブロック図である。

### 【0 0 2 8】

このメッセージングシステム 1 0 0 は、ユーザに所持される無線タグ 1、ならびに通信ネットワーク 5 に接続されて相互に通信可能な複数（ $r$  個： $r$  は 2 以上の整数）の端末 2 1 ～ 2  $r$ 、メッセージングサーバ 3、およびコンテンツサーバ 4 を有する。メッセージングサーバ 3 は負荷分散を行うために複数個設けられる場合もある。また、コンテンツサーバ 4 も複数個設けられる場合もあり、この場合に、各コンテンツサーバが異なるコンテンツを記憶する場合もある。通信ネットワーク 5 は、例えばインターネット、LAN、移動通信網等により構成される。

### 【0 0 2 9】

メッセージングシステム 1 0 0 のこれら構成要素の詳細を説明する前に、このメッセージングシステム 1 0 0 によって提供されるコンテンツ配信サービス（メッセージングサービス）の概要について説明する。

### 【0 0 3 0】

メッセージングシステム 1 0 0 により提供されるメッセージングサービスは、ユーザが端末間を移動しても、ユーザの移動先の端末にユーザの所望するコンテンツが自動的に配信されるサービスである。このサービスは以下のようにして提供される。

### 【0 0 3 1】

まず、メッセージングサービスに加入したユーザは、このサービスを提供するサービスプロバイダから、ユーザ識別子（ユーザ ID）等のタグ情報が記憶された無線タグ 1 を与えられる。ユーザは、サービスに加入する際に、どのようなコ

ンテンツをどのような条件で受信したいかをサービスプロバイダに申請する。サービスプロバイダは、この申請に従って、コンテンツサーバ（コンテンツサーバ 4 のアドレスや配信条件等をメッセージングサーバ 3 に登録する。

#### 【 0 0 3 2 】

サービス加入後、無線タグ 1 を所持するユーザが端末 2 1 ～ 2 r のいずれか（端末 2 1 とする。）に接近すると、端末 2 1 は、無線タグ 1 と無線通信を行い、無線タグ 1 に記憶されたタグ情報を無線通信により読み出す。続いて、端末 2 1 は、タグ情報に含まれるユーザ I D や端末 2 1 の情報等をメッセージングサーバ 3 に送信する。

#### 【 0 0 3 3 】

メッセージングサーバ 3 は、端末 2 1 から送信された情報に基づいて、ユーザの所望するコンテンツを記憶したコンテンツサーバ 4 からコンテンツを読み出し、読み出したコンテンツを端末 2 1 に配信する。これにより、ユーザは、移動先の端末 2 1 において、所望のコンテンツを得ることができる。

#### 【 0 0 3 4 】

このように、本実施の形態によるメッセージングサービスでは、ユーザが移動しても、ユーザの所望するコンテンツが移動先の端末に自動的に配信される。

#### 【 0 0 3 5 】

次に、メッセージングシステム 1 0 0 の各構成要素の詳細について説明する。

#### 【 0 0 3 6 】

無線タグ 1 には、図示しない内部メモリ（R O M, フラッシュメモリ等）が設けられ、この内部メモリには、タグ情報が記憶される。このタグ情報には、ユーザ識別子（ユーザ I D）と、メッセージングサーバ 3 の識別子（メッセージングサーバ I D）とが含まれる。

#### 【 0 0 3 7 】

複数のメッセージングサーバが設けられる場合には、複数のメッセージングサーバのうち、無線タグ 1 を所持するユーザにサービスを提供するもの（すなわち該ユーザを収容するメッセージングサーバ）のメッセージングサーバ I D が内部メモリに記憶される。



## 【0038】

ユーザIDは、ユーザがメッセージングサービスに加入した際に、サービスプロバイダ等からユーザに割り当てられる識別子であり、該ユーザを他のユーザから一意に識別する情報である。このユーザIDとしては、例えば、IETF (Internet Engineering Task Force) で規定されているNAI (Network Access Identifier) を用いることができる。

## 【0039】

メッセージングサーバIDは、該メッセージングサーバを一意に識別する情報である。メッセージングサーバIDとしては、例えばFQDN (Fully Qualified Domain Name) を用いることができる。なお、メッセージングサーバが1つのみ設けられる場合には、端末21～2rにメッセージングサーバIDを記憶しておくことができ、この場合には、メッセージングサーバIDはタグ情報に含まれていなくてもよい。

## 【0040】

無線タグ1は、端末21～2rのうち所定の距離（例えば数十cm，数m等）内に存在するもの（端末2i（iは1～rのいずれか）とする。）と無線通信を行い、内部メモリに記憶されたタグ情報を端末2iに送信する。無線タグ1は、無線通信を行うための電力を供給する電源（電池等）を内蔵するものであってもよいし、電源を内蔵せず、端末2iからの無線信号によって電力を発生させる回路を内蔵するものであってもよい。

## 【0041】

なお、無線タグ1の所定の距離内に2以上の端末が存在する場合には、無線タグ1はこれら2以上の端末と無線通信して、2以上の端末にタグ情報を送信することもある。

## 【0042】

端末21～2rは、ユーザによって使用されるパソコン、PDA、キオスク端末、カーナビゲーションシステム等である。端末21～2rは、これらパソコン、PDA、キオスク端末、カーナビゲーションシステム等の違いはあるが、本発明に係る機能を実現する点では同じ構成を有する。図2は、端末21～2rの代

表として端末 2 1 の構成を示すブロック図である。端末 2 1 は、無線タグリーダー 2 a、処理部 2 b、通信インタフェース部（通信 I F 部） 2 c、記憶部 2 d、出力部 2 e、および入力部 2 f を有する。

#### 【 0 0 4 3 】

無線タグリーダー 2 a は、無線タグ 1 と無線通信を行い、無線タグ 1 の内部メモリに記憶されたタグ情報を読み出す（受信する）。読み出されたタグ情報は、処理部 2 b に与えられ、処理部 2 b によって記憶部 2 d（R A M 等）に記憶される。

#### 【 0 0 4 4 】

記憶部 2 d には、該端末 2 1 の端末識別子（端末 I D）、端末アドレス、およびコンテンツ形式が予め記憶されている。

#### 【 0 0 4 5 】

端末 I D は、端末 2 1 を他の端末から一意に識別する情報である。端末 2 1 が MobileIP における移動通信端末の場合には、端末 I D として、例えばホームアドレスを用いることができる。

#### 【 0 0 4 6 】

端末アドレスは、通信ネットワーク 5 における端末 2 1 のアドレスである。端末アドレスとして、例えば I P アドレスが用いられる。また、端末 2 1 が Mobile IP における移動通信端末の場合には、端末アドレスとして、例えばホームアドレスまたは気付アドレス（Care-of-Address）を用いることができる。この場合において、端末 2 1 がホームネットワーク上に存在するときは、端末アドレスはホームアドレスとなり、端末 2 1 が外部ネットワーク（Foreign Network）に存在する場合には、端末アドレスは気付アドレスとなる。そして、ホームアドレス宛てに送信されたコンテンツは、ホームネットワークにおいて気付アドレス宛てに転送される。

#### 【 0 0 4 7 】

コンテンツ形式は、端末 2 1 の出力部 2 e に出力（表示、音声出力等）できるコンテンツの形式を示す。例えば、端末 2 1 の出力部 2 e がテキストのみを表示する表示装置である場合に、コンテンツ形式はテキストとなる。コンテンツ形式

は、テキスト以外に P D F 形式、H T M L 形式等のファイル形式や、音声形式、表示画面の大きさ（縦横の解像度）を示すデータを含むことができる。

#### 【 0 0 4 8 】

無線タグ 1 からタグ情報が送信された場合には、このタグ情報も記憶部 2 d に一時的に記憶される。このタグ情報は、後述するように、不要となった場合に記憶部 2 d から削除（消去）される。

#### 【 0 0 4 9 】

処理部 2 b は、無線タグリーダ 2 a、通信 I F 部 2 c、出力部 2 e、および入力部 2 f を制御すると共に、無線タグリーダ 2 a からのタグ情報を記憶部 2 d に記憶し、不要となったタグ情報を記憶部 2 d から削除し、メッセージングサーバ 3 に端末を登録し、メッセージングサーバ 3 から送信されたコンテンツをユーザに提供する等の処理を実行する。なお、処理部 2 b は、ハードウェア回路によって実現されてもよいし、プログラムおよびこれを実行する C P U によって実現されてもよい。

#### 【 0 0 5 0 】

通信 I F 部 2 c は、通信ネットワーク 5 との間でデータの送受信処理を行い、通信ネットワーク 5 から受信されたデータを処理部 2 b に与えると共に、処理部 2 b からのデータを通信ネットワーク 5（メッセージングサーバ 3）に送信する。通信 I F 部 2 c と通信ネットワーク 5 との間の通信は、有線通信の場合もあるし、無線通信の場合もある。

#### 【 0 0 5 1 】

出力部 2 e は、表示装置（C R T ディスプレイ、液晶ディスプレイ等）、スピーカ等から構成され、メッセージやコンテンツ等を出力（音声出力、表示等）する。入力部 2 f は、キーボード、マウス、タッチパネル等から構成され、ユーザが端末 2 1 の操作を行うためのものである。

#### 【 0 0 5 2 】

メッセージングサーバ 3 は、端末を登録し、コンテンツサーバ 4 からのコンテンツを、所定の条件の下、登録された端末に配信する。図 3 は、メッセージングサーバ 3 の構成を示すブロック図である。メッセージングサーバ 3 は、処理部 3

a, データベース (DB) 3 b, および通信 I F 部 3 c を有する。

【 0 0 5 3 】

DB 3 b には, ユーザコンテンツ管理テーブル, コンテンツ管理テーブル, および端末管理テーブル, ならびにコンテンツサーバ 4 から取得したコンテンツが記憶される。

【 0 0 5 4 】

図 4 (A) および (B) は, ユーザコンテンツ管理テーブルの例を示しており, 同図 (A) はコンテンツ配信前のものを, 同図 (B) はコンテンツ配信後のものを, それぞれ示している。

【 0 0 5 5 】

ユーザコンテンツ管理テーブルは, ユーザが所望するコンテンツ, コンテンツの配信条件, およびコンテンツの配信状況を管理するテーブルであり, ユーザがメッセージングサービスに加入する際に, ユーザから提供された加入情報に基づいてサービスプロバイダ等により作成されるか, または, 加入後, いずれかの端末 2 i を介してユーザにより作成される。

【 0 0 5 6 】

このユーザコンテンツ管理テーブルは, ユーザ I D ごとに設けられ, ユーザ I D によりインデックスおよび検索される。図 4 (A) および (B) は, ユーザ I D がユーザ A のユーザコンテンツ管理テーブルの例を示し, 他にユーザ B や C 等が存在する場合には, ユーザ B のユーザコンテンツ管理テーブル, ユーザ C のユーザコンテンツ管理テーブル等が設けられることとなる。

【 0 0 5 7 】

ユーザコンテンツ管理テーブルは, ユーザ I D, コンテンツアドレス (URL), 配信モード, 配信契機, 更新時刻, 配信条件, および配信回数のデータ項目を有する。

【 0 0 5 8 】

ユーザ I D は, 加入したユーザに割り当てられた識別子であり, 前述したタグ情報のユーザ I D と同じものである。コンテンツアドレスは, ユーザの所望するコンテンツの記憶場所 (コンテンツサーバ 4 のいずれかのホームページ等) を示

すアドレスである。コンテンツアドレスとして、例えばURLが用いられる。

#### 【0 0 5 9】

配信モードは、コンテンツアドレスによりアドレスされるコンテンツを配信する端末が複数（マルチモード）であるか、1つ（シングルモード）であるかを示す。「マルチモード」の場合とは、例えば、ユーザが所持するPDAと、ユーザ近傍に配置されたキオスク端末との双方にコンテンツを配信する場合である。図4（A）では、配信モードとして「シングルモード」が示されているので、ユーザAが所望するコンテンツは1台の端末にのみ配信されることとなる。

#### 【0 0 6 0】

配信契機は、コンテンツを端末に配信する契機を示す。図4（A）では、配信契機として「更新時」が示されているので、コンテンツが更新されるごとに、更新されたコンテンツがユーザに配信される。配信契機には、これ以外に、例えば、1時間ごとに配信する等を設定することができる。

#### 【0 0 6 1】

更新時刻は、コンテンツが最後に更新された時刻を示す。図4（A）はコンテンツ配信前のユーザコンテンツ管理テーブルを示している所以、このテーブルの更新時刻の欄には更新時刻が表示されておらず、例えば“NULL”等の値が書き込まれている。一方、図4（B）はコンテンツ配信後のユーザコンテンツ管理テーブルを示している所以、更新時刻の欄には、配信されたコンテンツの更新時刻である「2002年7月1日13時」が書き込まれている。

#### 【0 0 6 2】

配信条件は、ユーザの所望するコンテンツがどのような条件の場合に配信されるかを示す。例えば、コンテンツが株価情報である場合において、株価が500円以上となったときにのみ、該コンテンツの配信をユーザが所望する場合には、配信条件として「500円以上」が設定される。図4（A）および（B）に示すように、配信条件が特に設定されていない場合には、配信契機に基づいてのみコンテンツが配信されることとなる。

#### 【0 0 6 3】

配信回数は、コンテンツをユーザに配信した回数を示す。配信回数の初期値に

は、図 4 (A) に示すように 0 が設定され、その後、コンテンツが配信されるごとに配信回数は 1 つずつインクリメントされる。図 4 (B) では、コンテンツを 1 回配信した後のテーブルが示されているので、配信回数は 1 となっている。この配信回数は、配信回数に基づいてユーザに課金を行う場合に使用される。したがって、定額制のように一定額が課金されるユーザに対しては、配信回数のデータ項目は特に設けられなくてもよい。

#### 【 0 0 6 4 】

図 5 (A) および (B) は、コンテンツ管理テーブルの例を示しており、同図 (A) はコンテンツ形式が変換されたファイルの作成前のものを、同図 (B) はコンテンツ形式が変換されたファイルの作成後のものを、それぞれ示している。

#### 【 0 0 6 5 】

コンテンツ管理テーブルは、ユーザに配信されるコンテンツの特性、メッセージングサーバ 3 内で記憶されるコンテンツのファイル名等を管理するテーブルであり、ユーザがメッセージングサービスに加入する際に、ユーザから提供された加入情報に基づいてサービスプロバイダ等により作成されるか、または、加入後、端末 2 i を介したユーザの操作によってメッセージングサーバ 3 により作成される。

#### 【 0 0 6 6 】

このコンテンツ管理テーブルは、コンテンツアドレス、更新時間帯、およびファイル名をデータ項目として有する。

#### 【 0 0 6 7 】

コンテンツアドレスは、前述した図 4 (A) および (B) のユーザコンテンツ管理テーブルのコンテンツアドレスと同じものである。

#### 【 0 0 6 8 】

更新時間帯は、コンテンツの特性の 1 つであり、コンテンツが更新され得る時間帯を示している。例えば、コンテンツが株価情報である場合には、株の取引が行われている時間 9 時から 15 時が更新時間帯となるので、この時間が更新時間帯に書き込まれる。

#### 【 0 0 6 9 】



なお、ここでは、コンテンツの特性（更新特性）として更新時間帯を示しているが、これは、図 4（A）および（B）の配信契機が更新時であることに対応するものである。したがって、配信契機が更新時以外のものである場合には、更新時間帯以外の特性がコンテンツ管理テーブルに設けられることとなる。

#### 【 0 0 7 0 】

ファイル名は、コンテンツサーバから読み出されたコンテンツが DB 3 b に記憶される際に付された、メッセージングサーバ 3 内のローカルなファイル名である。図 5（A）では、コンテンツ（例えば株価情報）がファイル名 “stock/z.html” で DB 3 b に記憶されていることが示されている。

#### 【 0 0 7 1 】

この DB 3 b に記憶されたコンテンツは、後述するように、端末に配信される際に、端末が出力（表示）できる形式（前述した端末のコンテンツ形式）に変換される。変換後のコンテンツは、別のファイル名で DB 3 b に記憶される。図 5（B）では、HTML 形式のコンテンツ（ファイル名） “stock/z.html” がテキスト形式のコンテンツ “stock/z.txt” に変換され、これら両ファイルが DB 3 b に記憶されていることが示されている。

#### 【 0 0 7 2 】

図 6（A）および（B）は、端末管理テーブルの例を示しており、同図（A）は端末アドレスの変更前のテーブルを、同図（B）は端末アドレスの変更後のテーブルを、それぞれ示している。

#### 【 0 0 7 3 】

端末管理テーブルは、端末の情報を管理するテーブルである。この端末管理テーブルは、端末がユーザの個人所有の端末（例えば P D A や携帯電話機）の場合には、プロバイダが保持する管理端末を介して、メッセージングサーバ 3 にあらかじめ作成（登録）することもできるし、コンテンツを取得する際に、任意の端末 2 i を介してメッセージングサーバ 3 に作成することもできる。

#### 【 0 0 7 4 】

また、端末 2 i がキオスク端末やインターネットカフェ等に設置された端末のように、誰もが使用可能な端末の場合には、事前に登録するのは難しいと考えら

れるため、ユーザ自身が操作する端末を介して、コンテンツ取得の際に作成されることとなる。

#### 【 0 0 7 5 】

この端末管理テーブルは、ユーザ I D ごとに設けられ、ユーザ I D によりインデックスおよび検索される。図 6 (A) および (B) は、ユーザ I D がユーザ A の端末管理テーブルの例を示し、他にユーザ B や C 等が存在する場合には、ユーザ B の端末管理テーブル、ユーザ C の端末管理テーブル等が設けられることとなる。

#### 【 0 0 7 6 】

この端末管理テーブルは、ユーザ I D、端末 I D、端末アドレス、およびコンテンツ形式をデータ項目として有する。

#### 【 0 0 7 7 】

ユーザ I D は、加入したユーザに割り当てられた識別子であり、前述したタグ情報のユーザ I D と同じものである。端末 I D、端末アドレス、およびコンテンツ形式も前述した通りであり、端末の記憶部 2 d に記憶されたものと同じである。なお、1 人のユーザに対して複数の端末が割り当てられるマルチモード（後述）の場合には、各端末の端末 I D、端末アドレス、およびコンテンツ形式が設けられる（後述する図 1 7 参照）。

#### 【 0 0 7 8 】

端末 2 i が P D A や携帯電話のような移動通信端末の場合に、端末 2 i の端末アドレスは、端末 2 i の移動に伴い変化する。したがって、端末 2 i の端末アドレスは、図 6 (A) および (B) に示すようにアドレス A 1 から A 1 ' に変化する可能性がある。

#### 【 0 0 7 9 】

なお、メッセージングサーバに記憶されるこれらのユーザコンテンツ管理テーブル、コンテンツ管理テーブル、および端末管理テーブルの内容は、一旦設定された後、ユーザの端末 2 i または専用端末を使用してユーザが変更することができる。

#### 【 0 0 8 0 】



図 3 に戻って、メッセージングサーバ 3 の通信 I F 部 3 c は、通信ネットワーク 5 との間でデータの送受信処理を行い、通信ネットワーク 5（コンテンツサーバ 4，端末 2 1 ～ 2 r）からのデータを処理部 3 a に与えると共に、処理部 3 a からのデータを通信ネットワーク 5 を介していずれかの端末 2 i に配信する。通信 I F 部 3 c と通信ネットワーク 5 との間の通信は、有線通信の場合もあるし、無線通信の場合もある。

#### 【 0 0 8 1 】

前述したように、複数のメッセージングサーバが設けられる場合もあり、この場合には、あるメッセージングサーバにはユーザ A が収容され、他のメッセージングサーバにはユーザ B が収容されるというように、負荷分散が行われる。

#### 【 0 0 8 2 】

図 1 に戻って、コンテンツサーバ 4 は、ユーザに提供するコンテンツを格納するサーバである。コンテンツには、株価情報、ニュース、音楽、映像等の種々の情報が含まれ、コンテンツの形式にも、ビットマップ、J P E G，M P E G，G I F 形式等の画像データ，H T M L 形式のデータ，テキストデータ等，種々の形式のものが含まれる。前述したように、複数のコンテンツサーバが設けられる場合もあり、この場合には、あるコンテンツサーバには株価情報が記憶され、他のコンテンツサーバにはニュースが記憶されるという形態もある。

#### 【 0 0 8 3 】

##### [メッセージングシステムの動作]

次に、メッセージングシステム 1 0 0 がメッセージングサービスを提供する場合の処理の流れを、例を用いて説明する。

#### 【 0 0 8 4 】

##### (1) 株価情報の配信サービス

株価情報をユーザに送信するサービスについて説明する。

#### 【 0 0 8 5 】

図 7 は、コンテンツの登録からコンテンツの配信までのメッセージングシステム 1 0 0 の処理の流れを示すシーケンス図である。図 8 は、図 7 のステップ S 2 のタグ情報読み出しフローを示すフローチャートである。図 9 は、図 7 のステッ

プ S 4 のコンテンツ取得処理の流れを示すフローチャートである。図 1 0 は、図 7 のステップ S 5 のコンテンツ配信処理の流れを示すフローチャートである。図 1 1 は、図 7 のステップ S 6 の登録削除要求送信フローを示すフローチャートである。

#### 【 0 0 8 6 】

ここでは、端末 2 1 が、無線タグ 1 を所持するユーザにより携帯される P D A であるとする。この P D A 2 1 は、通信ネットワーク 5 に含まれる移動通信網との無線通信機能を有し、通信ネットワーク 5 を介してメッセージングサーバ 3 と通信する。また、ユーザの所望のコンテンツは、ある会社（Z 社とする。）の株価情報であり、コンテンツサーバ 4 に格納されているものとする。この Z 社の株価情報のメッセージングサーバ 3 への登録は、サービス加入時またはサービス加入後、ユーザが P D A 2 1 を使用して行うものとする。

#### 【 0 0 8 7 】

まず、ユーザは、P D A 2 1 を使用して、メッセージングサーバ 3 にアクセスし、所望のコンテンツである株価情報を登録する。例えば、メッセージングサーバ 3 が W e b サーバの機能を有し、ユーザが P D A 2 1 の W e b ブラウザからメッセージングサーバ 3 にアクセスし、W e b 画面上でコンテンツを登録する。この株価情報の登録において、ユーザは、P D A 2 1 を使用して、ユーザ I D、コンテンツアドレス、配信モード、配信契機、配信条件、および更新時間帯を指定する。

#### 【 0 0 8 8 】

指定されたこれらの情報に基づいて、メッセージングサーバ 3 は、ユーザコンテンツ管理テーブル（図 4（A）参照）およびコンテンツ管理テーブル（図 5（A）参照）を作成し、コンテンツ（株価情報）を登録する（図 7 の S 1）。

#### 【 0 0 8 9 】

なお、サービス加入時にコンテンツの登録を行う場合には、ユーザ I D がユーザにまだ割り当てられていないので、この場合には、メッセージングサーバ 3 がユーザ I D を決定してユーザに割り当てると共に、ユーザコンテンツ管理テーブルのユーザ I D として設定する。

**【 0 0 9 0 】**

コンテンツの登録情報は、通信ネットワーク 5，P D A 2 1，メッセージングサーバ 3 等の有するセキュリティ機能により、他のユーザによって改ざんされないようにするのが好ましい。

**【 0 0 9 1 】**

コンテンツの登録後，P D A 2 1（処理部 2 b）は，無線タグ 1 と無線通信を行い，無線タグ 1 の内部メモリに記憶されているタグ情報（ここではユーザ I D（ユーザ A）およびメッセージングサーバ I D（F Q D N））を読み出す（図 7 の S 2）。このタグ情報の読み出しは，ユーザが P D A 2 1 の入力部 2 e に設けられた無線タグ登録ボタン（タグ情報読み出しボタン）を押すことにより行われる。この無線タグ登録ボタンは出力部 2 e に表示されるアイコンであってもよい。

**【 0 0 9 2 】**

ユーザがこのボタンを押す（クリック，タッチ等する）と，P D A 2 1 は，所定の距離内の無線タグ 1 と無線通信を行い，無線タグ 1 の内部メモリに記憶されたタグ情報を無線通信により読み出す（図 8 の S 2 1）。

**【 0 0 9 3 】**

タグ情報の読み出し後，P D A 2 1 は，D N S（Domain Name System）等の機構（通信ネットワーク 5 に設けられる）を用いて，メッセージングサーバ I D（F Q D N）からメッセージングサーバ 3 の I P アドレスを取得する。取得した I P アドレスに基づいて，P D A 2 1 は，自己の登録要求（端末登録要求）をメッセージングサーバ 3 に送信する（図 8 の S 2 2）。

**【 0 0 9 4 】**

この端末登録要求には，タグ情報に含まれるユーザ I D（ユーザ A），ならびに P D A 2 1 の記憶部 2 d に記憶された端末 I D（T 1），端末アドレス（I P アドレス A 1），およびコンテンツ形式（テキスト）が含まれる。

**【 0 0 9 5 】**

メッセージングサーバ 3（処理部 3 a）は，端末登録要求を受信すると，端末登録要求に含まれるユーザ I D に対応する端末管理テーブル（図 6（A）参照）

をDB3bに作成し、端末を登録する（図7のS3）。

【0096】

その後、PDA21は、記憶部2dにタグ情報を記憶する（図8のS23）。

【0097】

メッセージングサーバ3（処理部3a）は、端末の登録後、登録された端末へコンテンツを配信するために、コンテンツサーバ4からコンテンツを取得する（図7のS4）。

【0098】

すなわち、メッセージングサーバ3は、コンテンツ管理テーブルの更新時間帯と現在時刻とを比較し、ユーザAに送信すべきコンテンツ（株価情報）が更新される可能性があるかどうかを判断する（図9のS24）。

【0099】

図5（A）に示す例では、現在時刻がコンテンツ更新時間帯9：00～15：00の範囲内にある場合に、株価情報が更新される可能性がある。したがって、メッセージングサーバ3は、現在時刻とコンテンツ更新時間帯とを比較し、現在時刻がコンテンツ更新時間帯9：00～15：00の範囲内に含まれる場合に（図9のS24でY）、株価情報を所定の頻度でコンテンツサーバ4に要求する。一方、現在時刻がコンテンツ更新時間帯の範囲内に含まれない場合には（図9のS24でN）、メッセージングサーバ3は株価情報をコンテンツサーバ4に要求しない。

【0100】

コンテンツ要求のためのプロトコルとしては、例えば、HTTP（Hyper Text Transfer Protocol）が使用される。なお、コンテンツサーバとメッセージングサーバとを1つのサーバとして構成することもでき、この場合には、独自に規定された内部プロトコルが使用されてもよい。

【0101】

コンテンツを要求する頻度は、メッセージングサーバ3やコンテンツサーバ4の能力を考慮して、あらかじめ定められた頻度（例えば5分や10分に1回）でもよいし、ユーザから申請された頻度であってもよい。

## 【0 1 0 2】

なお、コンテンツの要求は、個々のユーザ毎に独立に行われるのではなく、メッセージングサーバ3に登録された全ユーザについて共通に行われる。

## 【0 1 0 3】

コンテンツサーバ4が株価情報（HTML形式）をメッセージングサーバ3に送信すると（図9のS25）、メッセージングサーバ3は、取得した株価情報と、DB3bに既に記憶された株価情報とを比較し、取得した株価情報が新しいかどうかを判断する（図9のS26）。すなわち、両株価情報の更新時刻（例えばHTTP/1.1のLast-Modifiedエンティティヘッダフィールドに設定された時刻情報）が比較され、取得した株価情報の更新時刻が、既に記憶された株価情報の更新時刻よりも遅い場合には、取得した株価情報が新しいと判断され、それ以外の場合には、取得した株価情報は新しくないと判断される。また、DB3bに株価情報が記憶されていない場合にも、取得した株価情報は新しいと判断される。

## 【0 1 0 4】

取得した株価情報が新しい場合には（図9のS26でY）、メッセージングサーバ3は、取得した株価情報をDB3bに保存（記憶）し、該株価情報に関するコンテンツアドレス（URL）およびファイル名をコンテンツ管理テーブル（図5（A）参照）に登録する（図9のS27）。一方、取得したコンテンツが新しくない場合には（図9のS26でN）、ステップS27の保存処理は行われない。

## 【0 1 0 5】

続いて、メッセージングサーバ3（処理部3a）は、株価情報の配信処理を実行する（図7のS5）。すなわち、メッセージングサーバ3は、まず、ユーザコンテンツ管理テーブルを参照し、ユーザの端末に配信すべきコンテンツを検索する（図10のS31）。この検索により、PDA21に対しては、株価情報が検索される。

## 【0 1 0 6】

続いて、メッセージングサーバ3は、検索されたコンテンツが送信条件（ユーザコンテンツ管理テーブルの配信契機および配信条件）を満たすかどうかを判断

する（図 1 0 の S 3 2）。株価情報については、株価情報が更新されているかどうか、ユーザコンテンツ管理テーブルの更新時刻に基づいて判断される。

#### 【 0 1 0 7 】

更新時刻が書き込まれていない場合（すなわち 1 度も株価情報が配信されていない場合）、または、書き込まれた更新時刻が D B 3 b に記憶された株価情報の更新時刻よりも早い時刻の場合には、株価情報は更新されていると判断され、その結果、送信条件を満たすと判断される。

#### 【 0 1 0 8 】

送信条件を満たす場合には（図 1 0 の S 3 2 で Y）、メッセージングサーバ 3 は、端末管理テーブルを参照し、コンテンツの送信先の端末を選択する（図 1 0 の S 3 3）。株価情報については、ユーザ A の P D A 2 1（T 1）が選択される。

#### 【 0 1 0 9 】

続いて、メッセージングサーバ 3 は、選択した端末のコンテンツ形式を端末管理テーブルから参照し、端末のコンテンツ形式を有するコンテンツが D B 3 b に記憶されているかどうかを判断する（図 1 0 の S 3 4）。

#### 【 0 1 1 0 】

P D A 2 1 のコンテンツ形式はテキスト形式である一方、メッセージングサーバ 3 の D B 3 b に記憶された株価情報は H T M L 形式である。したがって、P D A 2 1 のコンテンツ形式であるテキスト形式の株価情報は D B 3 b に記憶されていない。

#### 【 0 1 1 1 】

このように、端末のコンテンツ形式を有するコンテンツが D B 3 b に記憶されていない場合には（図 1 0 の S 3 4 で N）、メッセージングサーバ 3 は、コンテンツ形式を変換し、変換後のコンテンツを D B 3 b に保存する（図 1 0 の S 3 5、S 3 6）。一方、端末のコンテンツ形式を有するコンテンツが D B 3 b に既に記憶されている場合には（図 1 0 の S 3 4 で Y）、メッセージングサーバ 3 は、これらステップ S 3 5 および S 3 6 の処理を行わず、直ちにステップ S 3 7 のコンテンツの配信処理を行う。



**【 0 1 1 2 】**

HTML形式の株価情報については、テキスト形式の株価情報に変換され、DB 3 bに保存される（図 1 0 の S 3 5，S 3 6）。HTML形式からテキスト形式への変換は、例えば、HTMLドキュメントからHTMLタグを削除すること等によって行われる。

**【 0 1 1 3 】**

メッセージングサーバ 3 は、コンテンツ形式の変換および変換されたコンテンツの保存を行った後、変換されたコンテンツのファイル名をコンテンツ管理テーブルに登録する。例えば、テキスト形式の株価情報については、ファイル名“stock/z.txt”がコンテンツ管理テーブルに登録される（図 5（B）参照）。

**【 0 1 1 4 】**

このように変換されたファイルがメッセージングサーバ 3 に保持され、そのファイルに関する情報がコンテンツ管理テーブルに登録されることにより、1 度変換されたコンテンツを他のユーザにも配信することができる。

**【 0 1 1 5 】**

コンテンツの変換が完了すると、メッセージングサーバ 3 は、変換されたコンテンツ（テキスト形式の株価情報）を PDA 2 1 に配信する（図 1 0 の S 3 7）。この時、メッセージングサーバ 3 は、コンテンツ管理テーブルのコンテンツ更新時刻の欄に、HTTP/1.1のLast-Modifiedエンティティヘッダフィールドに設定された情報（例えば2002.07.01 13:00）を書き込む。また、メッセージングサーバ 3 は、コンテンツ配信回数を 1 つインクリメントする。

**【 0 1 1 6 】**

続いて、メッセージングサーバ 3 は、ユーザコンテンツ管理テーブルの配信モードがシングルモードかマルチモードかを判定する（図 1 0 の S 3 8）。メッセージングサーバ 3 は、シングルの場合には（図 1 0 の S 3 8 で Y），配信処理を一旦終了し、マルチモードの場合には（図 1 0 の S 3 8 で Y），他の登録された端末への配信処理を行うため、登録された端末に対して図 1 0 のステップ S 3 3 から S 3 7 の処理を実行した後、配信処理を終了する。

**【 0 1 1 7 】**

この後、コンテンツ更新時間帯の間、所定の時間間隔で、コンテンツ取得処理（図 7 の S 4）およびコンテンツ配信処理（図 7 の S 5）は繰り返され、更新されたコンテンツが、登録された端末に配信される。所定の時間間隔は、メッセージングサーバ 3 にあらかじめ定められていてもよいし、ユーザにより指定されてもよい。

#### 【0 1 1 8】

なお、ユーザ ID = ユーザ A の 1 人にユーザに対する株価情報の配信について説明したが、他のユーザ（例えばユーザ ID = ユーザ B）が同じ株価情報の配信サービスに加入している場合には、メッセージングサーバ 3 はユーザ A および B に株価情報をマルチキャストすることとなる。

#### 【0 1 1 9】

また、複数のメッセージングサーバ（例えば 2 つのメッセージングサーバ 3 1 および 3 2 とする。）が設けられ、ユーザ A がメッセージングサーバ 3 1 に收容され、ユーザ B がメッセージングサーバ 3 2 に收容される場合には、メッセージング 3 1 がユーザ A の端末への株価情報の配信を行い、メッセージングサーバ 3 2 がユーザ B の端末への株価情報の配信を行うこととなる。

#### 【0 1 2 0】

コンテンツ更新時間帯の終了時刻（15 時）が過ぎると、再度コンテンツ更新時間帯の開始時刻（9 時）になるまで、メッセージングサーバ 3 は、コンテンツ取得処理およびコンテンツ配信処理を停止する。

#### 【0 1 2 1】

PDA 2 1 が、例えばホームネットワークから外部ネットワークに移動し、端末アドレスがアドレス A 1 から A 1 ' に変化すると、PDA 2 1 は、端末アドレス登録要求をメッセージングサーバ 3 に送信する。この端末アドレス登録要求には、ユーザ ID（A）、端末 ID（T 1）、および変化した端末アドレス（A 1 '）が含まれる。

#### 【0 1 2 2】

メッセージングサーバ 3 は、端末アドレス登録要求を受信すると、端末アドレス登録要求に含まれるユーザ ID（A）および端末 ID（T 1）に対応する端末



管理テーブルの端末アドレスをA1からA1'に変更する(図7のS6, 図6(B)参照)。これにより、PDA21はアドレスが変わっても、コンテンツの配信を受けることができる。

#### 【0123】

ユーザが、PDA21に対するコンテンツの配信を停止したい場合等には、メッセージングサーバ3における端末の登録を削除することにより、配信を停止することができる。この端末の登録削除は、登録削除要求をメッセージングサーバ3に送信することにより行われる。

#### 【0124】

まず、ユーザは、PDA21の入力部2eに設けられた登録削除ボタンを押す。この登録削除ボタンはアイコンであってもよい。ユーザがこのボタンを押す(またはクリック、タッチ等する)と、PDA21(処理部2b)は、記憶部2dからユーザID、メッセージングサーバID、および端末IDを読み出す(図11のS41)。

#### 【0125】

なお、PDA21は、無線タグ1から受信されたユーザIDおよびメッセージサーバIDを記憶部2dに記憶しないようにすることもできる。この場合に、PDA21は、登録削除処理を行う際に、ユーザIDおよびメッセージングサーバID(すなわちタグ情報)を無線タグ1から再度読み出すこととなる。

#### 【0126】

続いて、PDA21は、DNS等の機構を使用して、メッセージングサーバID(FQDN)からメッセージングサーバ3のIPアドレスを取得し、ユーザIDおよび端末IDを含む登録削除要求をメッセージングサーバ3に送信する(図11のS42)。なお、端末登録の際に取得したメッセージングサーバ3のIPアドレスを記憶部2dに記憶しておくこともでき、この場合に、PDA21は、DNS等を利用することなく、記憶部2dに記憶されたメッセージングサーバ3のIPアドレスを使用してメッセージングサーバ3にアクセスすることができる。

#### 【0127】

メッセージングサーバ 3 は、この登録削除要求を受信すると、登録削除要求に含まれるユーザ I D および端末 I D に対応する端末管理テーブルを削除（消去）する。これにより、メッセージングサーバ 3 からのコンテンツの送信は行われなくなる。

#### 【 0 1 2 8 】

P D A 2 1 は、登録削除要求の送信後、直ちに、記憶部 2 d に記憶されたタグ情報を削除（消去）する（図 1 1 の S 4 3 ）。

#### 【 0 1 2 9 】

なお、無線タグ 1 からのタグ情報の読み出しは、P D A 2 1 のタグ情報読み出しボタンの操作に加えて、または、これに代えて、P D A 2 1 の電源が投入された時（オンにされた時）に行うこともできる。また、P D A 2 1 からのタグ情報の削除およびメッセージサーバからの端末登録情報の削除は、P D A 2 1 の電源がオフにされた時に行うこともできる。以下の例（2）のキオスク端末等の場合や、例（3）のカーナビゲーションシステムの場合、ならびに第 2 および第 3 の実施の形態においても同様である。

#### 【 0 1 3 0 】

##### （2）キオスク端末等へのコンテンツ配信

次に、上記例（1）のユーザ I D のユーザが、キオスク端末（端末 2 2 とする。）をコンテンツ配信先の端末として登録する際の処理を説明する

図 1 2 は、メッセージングシステム 1 0 0 の処理の流れを示すシーケンス図である。図 1 2 において、図 7 のシーケンス図と同じ処理には、同じ符号を付し、その詳細な説明を省略することとする。

#### 【 0 1 3 1 】

キオスク端末 2 2 には、端末登録メニューまたは端末登録ボタンが設けられている。ユーザがキオスク端末 2 2 の端末登録メニューを選択し、あるいは、端末登録ボタンを押すと、端末 2 2 の無線タグリーダ 2 a が、無線タグ 1 に記憶されているタグ情報（ユーザ I D およびメッセージングサーバ I D （F Q D N））を読み出す（図 1 2 の S 2 ）。

#### 【 0 1 3 2 】

キオスク端末 2 2 は、D N S 等の機構を用いて、メッセージングサーバ 3 の F Q D N からメッセージングサーバ 3 の I P アドレスを取得する。この後、キオスク端末 2 2 は、ユーザ I D (ユーザ A) , 端末 I D (T 2) , 端末アドレス (A 2) , 受信可能なコンテンツ形式 (H T M L 形式) を含む端末登録要求メッセージをメッセージングサーバ 3 に送信する (図 1 2 の S 2) 。

#### 【 0 1 3 3 】

メッセージングサーバ 3 は、端末登録要求メッセージに基づいてキオスク端末 2 2 を登録する (図 1 2 の S 3) 。ユーザは、配信モードとしてシングルモードを指定していたため、上記例 ( 1 ) におけるユーザ端末管理テーブルの内容は該端末登録要求メッセージに設定されている情報で上書きされ、図 1 3 に示すようになる。

#### 【 0 1 3 4 】

上記例 ( 1 ) と同様に、メッセージングサーバ 3 は、ユーザ A に送信するためのコンテンツをコンテンツサーバ 4 に要求し、コンテンツを取得する (図 1 2 の S 4) 。ここで、メッセージングサーバ 3 は、取得済みのコンテンツの更新時刻と今回取得されたコンテンツの更新時刻とを比較し、今回取得したコンテンツが以前に取得・保存されたコンテンツよりも新しいならば、メッセージングサーバ 3 は、今回取得したコンテンツにより、以前に取得したコンテンツを置き換える。同時に、メッセージングサーバ 3 は、コンテンツ管理テーブルにおけるコンテンツ更新情報を新しいコンテンツの情報で置き換える。

#### 【 0 1 3 5 】

続いて、メッセージングサーバ 3 は、ユーザ A へコンテンツを送信するとき、以前にユーザ A に送信したコンテンツの更新情報とコンテンツ管理テーブルに登録されているコンテンツの更新情報とを比較する。ここでは、前回コンテンツを送信した時からコンテンツが更新されている (例えばコンテンツサーバ 4 から受信したコンテンツ応答メッセージに付与されていたLast-Modifiedエンティティヘッダフィールドの値が2002.07.01 13:10となっている) 場合を仮定する。この場合に、メッセージングサーバ 3 は、図 1 3 に示すユーザ端末管理テーブルに基づいて、コンテンツの送信先端末 (キオスク端末 2 2) を選択し、キオスク端末

2 2 にコンテンツを送信する（図 1 2 の S 5）。キオスク端末 2 2 には HTML ドキュメントを配信可能であるため、メッセージングサーバ 3 はコンテンツ変換処理を行わない。

#### 【 0 1 3 6 】

その後、キオスク端末 2 2 の使用を終了する場合には、ユーザは、キオスク端末 2 2 の端末登録削除メニューを選択し、あるいは、キオスク端末 2 2 に設けられた端末登録削除ボタンを押すことにより、終了することができる。

#### 【 0 1 3 7 】

キオスク端末 2 2 およびメッセージングサーバ 3 の端末登録削除の処理は、上記例（1）の場合と同じであるので、ここでは説明を省略する。

#### 【 0 1 3 8 】

インターネットカフェに設置されたパソコンが端末として利用され、この端末にコンテンツを配信する場合にも、キオスク端末 2 2 の場合と同様の処理が行われる。

#### 【 0 1 3 9 】

上記例（2）では、キオスク端末 2 2 の登録処理が、ユーザによる端末登録メニューの選択（または端末登録ボタンの押下）により起動される方法について説明したが、キオスク端末 2 2 が所定の距離（数十 c m ～数 m）内に接近した無線タグ 1 から自動的にタグ情報を読み出して登録処理を行うようにすることもできる。同様にして、端末の登録削除処理も、無線タグ 1 がキオスク端末 2 2 から所定の距離以上に離れた場合に自動的に行うようにすることもできる。

#### 【 0 1 4 0 】

図 1 4 は、端末の登録処理および登録削除処理を自動的に行う場合のタグ情報読み出しおよび登録削除要求送信フローを示すフローチャートである。

#### 【 0 1 4 1 】

キオスク端末 2 2 は、所定の時間間隔（例えば数ミリ秒～数秒間隔等）で、無線タグ 1 と通信できるかどうかをチェックする（S 5 1）。これは、例えば、キオスク端末 2 2 が所定の符号列（たとえばプリアンブル信号等）を所定の時間間隔で、かつ、所定の信号強度で送信し、無線タグ 1 は、この符号列を受信した場

合に、その確認応答（Ack）を所定の信号強度で端末 2 2 に返信することにより行われる。この信号強度を数メートル内で受信可能な強度とすることにより、キオスク端末 2 2 の数メートル内に無線タグ 1 が存在する場合に、キオスク端末 2 2 は無線タグ 1 との通信に成功する。

#### 【0 1 4 2】

キオスク端末 2 2 は、無線タグ 1 と通信できる場合に（S 5 1 で Y）、無線タグ 1 からタグ情報を読み出し、読み出したタグ情報とキオスク端末 2 2 の記憶部 2 d に既に記憶されているタグ情報（前回のタグ情報）とを比較し、両タグ情報が同じかどうかを判断する（S 5 3）。

#### 【0 1 4 3】

両タグ情報が同じでない場合、または、記憶部 2 d からタグ情報が消去されて比較できない場合には（S 5 3 で N）、キオスク端末 2 2 は、ステップ S 5 2 で読み出したタグ情報に基づいて端末登録要求をメッセージングサーバ 3 に送信し（S 5 4）、送信後、タグ情報を記憶部 2 d に保存する（S 5 5）。これらのステップ S 5 4 および S 5 5 の処理は、前述した図 8 のステップ S 2 2 および S 2 3 の処理とそれぞれ同じである。これにより、メッセージングサーバ 3 において、端末登録処理が行われる。

#### 【0 1 4 4】

なお、ステップ S 5 3 で“N”の場合に、無線タグ 1 からタグ情報を周期的にさらに 1 または 2 回以上読み出し、これら読み出したタグ情報がすべて同じである場合にステップ S 5 4 の処理に進んでもよい。これにより、新たなタグ情報の登録を確実に行うことができる。

#### 【0 1 4 5】

一方、両タグ情報が同じである場合には（S 5 3 で Y）、同じ無線タグ 1 がキオスク端末 2 2 近傍に存在することになるので、キオスク端末 2 2 は、端末登録要求および端末登録削除要求とも送信せず、再びステップ S 5 1 の判断処理を繰り返す。

#### 【0 1 4 6】

タグ情報の保存後、キオスク端末 2 2 は、前回のタグ情報が記憶部 2 d から削



除されているかどうかを判断する（S 5 6）。前回のタグ情報が削除されていない場合には（S 5 6 でN），キオスク端末 2 2 は前回のタグ情報の登録削除要求をメッセージングサーバ 3 に送信し（S 5 7），記憶部 2 d から前回のタグ情報を削除する（S 5 8）。これらステップ S 5 7 および S 5 8 の処理は，前述した図 1 1 のステップ S 4 2 および S 4 3 の処理とそれぞれ同じである。これにより，メッセージングサーバ 3 の端末登録の削除処理が行われる。

#### 【0 1 4 7】

一方，ステップ S 5 6 で，前回のタグ情報が既に記憶部 2 d から削除されている場合には，メッセージングサーバ 3 においても端末登録が削除されているので，キオスク端末 2 2 は，登録削除要求をメッセージングサーバ 3 に送信することなく，ステップ S 5 1 からの処理を繰り返す。

#### 【0 1 4 8】

ステップ S 5 1 において，キオスク端末 2 2 は無線タグ 1 との間で通信が確立できないと判断した場合には（S 5 1 でN），所定の時間（例えば数秒～数十秒等）が経過したかどうかを判断する（S 5 9）。所定の時間が経過した場合，すなわち無線タグ 1 との通信が確立できない時間が所定の時間を越えた場合には（S 5 9 でY），無線タグ 1 はキオスク端末 2 2 の所定の距離内から離れて移動したと考えられるので，キオスク端末 2 2 はステップ S 5 6 からの処理を実行する。一方，所定の時間が経過していない場合には（S 5 9 でN），キオスク端末 2 2 は，再びステップ S 5 1 に戻る。

#### 【0 1 4 9】

このような処理により，端末の自動登録および登録削除を行うことができる。なお，この処理は上記例（1）における P D A 2 1 やパソコン等の端末にも適用することができるし，以下の例（3）のカーナビゲーションシステムや第 2 および第 3 の実施の形態の端末にも適用することができる。

#### 【0 1 5 0】

##### （3）音声によるコンテンツ配信

端末を，自動車に搭載された，音声通信機能を有するカーナビゲーションシステム（以下「カーナビ」という。） 2 3 とすることもでき，以下に，カーナビ 2

3 に音声によりコンテンツ（例えば道路情報）を配信する処理について説明する。

#### 【0 1 5 1】

図 1 5 は、カーナビ 2 3 への音声によるコンテンツ配信処理の流れを示すシーケンス図である。前述した図 1 2 と同じ処理には同じ符号を付し、その詳細な説明を省略することとする。

#### 【0 1 5 2】

この例では、図 1 に示す通信ネットワーク 5 に、図示しないアナウンスサーバが接続される。アナウンスサーバは、例えば V o I P (Voice over IP) 等のプロトコルによりカーナビ 2 3 と呼を設定し、メッセージングサーバ 3 からのコンテンツ（道路情報）を音声に変換してカーナビ 2 3 に送信する機能を有する。

#### 【0 1 5 3】

まず、ユーザがカーナビ 2 3 に端末登録を要求すると、カーナビ 2 3 は無線タグ 1 からタグ情報を読み出し、メッセージングサーバ 3 に端末登録要求を送信する (S 2)。これにより、メッセージングサーバ 3 はカーナビ 2 3 を登録する (S 3)。このとき、カーナビ 2 3 へ送信される道路情報の形式として「音声」が指定される。その後、メッセージングサーバ 3 は、コンテンツサーバ 4 からコンテンツを取得する (S 4)。

#### 【0 1 5 4】

端末管理テーブルのコンテンツ形式は「音声」であることから、メッセージングサーバ 3 は、アナウンスサーバに対してカーナビ 2 との音声呼の設定を要求する (S 5)。これにより、アナウンスサーバは、カーナビ 2 3 との間に音声呼を設定する。

#### 【0 1 5 5】

音声呼が設定されると、メッセージングサーバ 3 は、アナウンス要求および道路情報をアナウンスサーバに送信する。アナウンスサーバは、アナウンス要求に従って、道路情報を音声に変換し、カーナビ 2 3 に送信する (S 9)。音声によるコンテンツの送信が終了すると、アナウンスサーバは、カーナビ 2 3 との間の音声呼を切断する。

## 【0 1 5 6】

このように、アナウンスサーバを設けることにより、コンテンツを音声により端末（カーナビ）に提供することもできる。

## 【0 1 5 7】

なお、メッセージングサーバ3がアナウンスサーバの機能を有する場合には、アナウンスサーバを省略することもでき、この場合には、メッセージングサーバ3がカーナビ23との間の呼の設定および切断、ならびにコンテンツの音声への変換処理を行うこととなる。

## 【0 1 5 8】

## (4) 複数端末へのコンテンツ配信

次に、複数端末へのコンテンツ配信処理の流れを説明する。図16はマルチモードの場合の複数端末へのコンテンツ配信を示すシーケンス図であり、図17はマルチモードのユーザの端末管理テーブルの例を示している。

## 【0 1 5 9】

ユーザコンテンツ管理テーブルの配信モードに「マルチモード」が指定されている場合には、端末管理テーブルの端末ID、端末アドレス、およびコンテンツ形式のデータ項目が複数の端末に対応して複数組（図17では2組）設けられる。これら端末管理テーブルに登録された複数の端末に同一のコンテンツが配信される。

## 【0 1 6 0】

図16には図示を省略しているが、図7に示すステップS1～S3の処理後、ステップS4のコンテンツ取得処理が行われ、ステップS5に示すコンテンツ配信処理によって、端末管理テーブルに登録された複数の端末（例えばPDA21およびキオスク端末22）にコンテンツが配信される。PDA21には、コンテンツがテキスト形式で配信され、キオスク端末22には、コンテンツがHTML形式で配信される。PDA21およびキオスク端末22にコンテンツを配信することにより、ユーザコンテンツ管理テーブルにおける配信回数には、2が加算される。

## 【0 1 6 1】



なお、ステップ S 5 のコンテンツ配信処理の詳細については、図 1 0 を参照して前述したので、ここでは説明を省略する。

#### 【 0 1 6 2 】

上記説明では、コンテンツの変換処理をメッセージングサーバ 3 が行うこととしているが、メッセージングサーバ 3 以外の変換装置（例えばコンテンツ変換サーバ）が通信ネットワーク 5 に接続され、この変換装置がコンテンツ変換処理を行うようにしてもよい。

#### 【 0 1 6 3 】

また、上記説明では、PDA 2 1 が移動することにより、その端末アドレスが変化した場合に、PDA 2 1 がメッセージングサーバ 3 に変更後の端末アドレスを通知するようにしているが、PDA 2 1 の端末アドレスを管理する位置管理サーバが通信ネットワーク 5 に接続される場合には、この位置管理サーバに、PDA 2 1 の変更後の端末アドレスを通知するようにすることもできる。この場合には、位置管理サーバが、通知された端末アドレスをメッセージングサーバ 3 にさらに通知する。このようにすることにより、PDA 2 1 は、メッセージングサーバ 3 に対してアドレスを通知する必要がなくなる。

#### 【 0 1 6 4 】

サービスの課金については、コンテンツの配信回数に応じて行われることとしているが、コンテンツの配信周期に応じて課金が行われてもよい。また、コンテンツの配信回数および配信周期とは関係なく、端末毎の料金定額制またはユーザ毎の料金定額制などがとられてもよい。

#### 【 0 1 6 5 】

##### < 第 2 の実施の形態 >

##### [メッセージングシステムの構成]

図 1 8 は、本発明の第 2 の実施の形態によるメッセージングシステム 2 0 0 の全体構成を示すブロック図である。

#### 【 0 1 6 6 】

メッセージングシステム 2 0 0 は、無線タグ 1、複数（ $r$  個）の端末 2 1 ～ 2  $r$ 、複数（ $q$  個： $q$  は 2 以上の整数）のメッセージングサーバ 3 1 ～ 3  $q$ 、コン

テンツサーバ 4，およびメッセージサーバアドレス管理サーバ 6 を有する。第 1 の実施の形態によるメッセージングシステム 1 0 0 と同じ構成要素（無線タグ 1，端末 2 1 ～ 2 r，およびコンテンツサーバ 4）には同じ符号を付し，その詳細な説明を省略する。メッセージングサーバ 3 1 ～ 3 q は，メッセージングサーバ 3 とほぼ同様の機能を有する。ここでは，複数のメッセージングが設けられているが，メッセージングサーバは 1 つであってもよい。また，メッセージングサーバアドレス管理サーバは負荷分散を行うために複数設けられてもよい。

#### 【0 1 6 7】

本実施の形態では，第 1 の実施の形態と異なり，無線タグ 1 の内部メモリにはユーザ I D のみが記憶され，メッセージングサーバ I D（例えば F Q D N）は記憶されていない。これは，無線タグ 1 の内部メモリの記憶容量を少なくし，無線タグ 1 のコストおよびサイズを削減するためである。

#### 【0 1 6 8】

一方，第 1 の実施の形態では，無線タグ 1 に記憶されているメッセージング I D に基づいてメッセージングサーバのアドレスを求めていたが，本実施の形態では，メッセージングサーバ I D が無線タグ 1 に記憶されないことから，メッセージングサーバのアドレスを求めるために，メッセージングサーバアドレス管理サーバ 6 が設けられる。このメッセージングサーバアドレス管理サーバ 6 は，無線タグ 1 に記憶されたユーザ I D に基づいて，該ユーザ I D のユーザを収容するメッセージングサーバのアドレスを求める。

#### 【0 1 6 9】

メッセージングサーバアドレス管理サーバ 6 は，ユーザを収容するメッセージングサーバのアドレスを求めるために，メッセージングサーバアドレス管理テーブルを保持する。図 1 9 は，メッセージングサーバアドレス管理テーブルの一例を示している。

#### 【0 1 7 0】

メッセージングサーバアドレス管理テーブルは，ユーザ I D，および，該ユーザ I D のユーザを収容するメッセージングサーバのアドレス（メッセージングサーバアドレス）のデータ項目を有する。図 1 9 では，ユーザ I D = ユーザ A のユ

ーザを収容するメッセージングサーバアドレスMAと、ユーザID=ユーザBのユーザを収容するメッセージングサーバアドレスMBとが例示されている。

#### 【0 1 7 1】

##### [メッセージングシステムの動作]

次に、このような構成のメッセージングシステム200がメッセージングサービスを提供する場合の処理の流れを説明する。図20は、メッセージングシステム200の処理の流れを示すシーケンス図である。

#### 【0 1 7 2】

ユーザIDとしてユーザAを有するユーザ（以下、単に「ユーザA」という。）は、メッセージングサービスの提供を受けるために、まず、端末21～2rの1つ（PDA21とする。）を使用して、メッセージングサーバ31～3qの1つ（メッセージングサーバ31とする。）に所望のコンテンツ（例えば株価情報）を登録する。

#### 【0 1 7 3】

複数のメッセージングサーバ31～3qの中から1つのメッセージングサーバ31の選択は、ユーザAがアドレスやURL等を指定して行うこともできるし、次のようにして行うこともできる。

#### 【0 1 7 4】

すなわち、メッセージングサーバ31～3qとは別に、図示しないサービス受付サーバ（例えばWEBサーバ）が設けられる。ユーザAは、まずこのサービス受付サーバにアクセスする。サービス受付サーバは、メッセージングサーバ31～3qの負荷やユーザ登録数が均衡するように、あるいは、ラウンドロビン方式で、1つのメッセージングサーバを選択し、選択したメッセージングサーバにユーザAのコンテンツを登録する。

#### 【0 1 7 5】

コンテンツの登録により、メッセージングサーバ31は、第1の実施の形態と同様に、ユーザAのユーザコンテンツ管理テーブル（図4（A）および（B）参照）を保持する（S61）。

#### 【0 1 7 6】

メッセージングサーバ31は、コンテンツの登録後、ユーザIDおよび自己のアドレス（アドレスMAとする。）をメッセージングサーバアドレス管理サーバ6に送信してアドレス登録を行う（S62）。これにより、メッセージングサーバアドレス管理サーバ6は、メッセージングサーバアドレス管理テーブルに、ユーザID=ユーザAとメッセージングサーバ31のアドレスMAとを追加する（図19参照）。

#### 【0177】

なお、このようなアドレス登録を行うために、メッセージングサーバ31（および32～3q）には、メッセージングサーバアドレス管理サーバ6のアドレスまたはFQDNがあらかじめ記憶され、メッセージングサーバ31（および32～3q）は、このアドレスまたはFQDNに基づいてメッセージングサーバアドレス管理サーバ6にアクセスする。複数のメッセージングサーバアドレス管理サーバが設けられる場合には、メッセージングサーバ31～3qは、1つのメッセージングサーバアドレス管理サーバを選択してアドレス登録を行うか、または、各メッセージングサーバに予め指定されているメッセージングサーバアドレス管理サーバにアドレス登録を行うこととなる。前者の方法では、メッセージングサーバアドレス管理サーバの負荷が均等となるように、1つのメッセージングサーバアドレス管理サーバを選択する方法等がある。

#### 【0178】

その後、無線タグ1を所持するユーザAがPDA21を使用してコンテンツを受信する場合に、PDA21は無線タグ1からユーザID（タグ情報）を読み出す（S63）。

#### 【0179】

続いて、PDA21は、メッセージングサーバアドレス管理サーバ6にアドレス要求を送信する。このアドレス要求には、無線タグ1から読み出したユーザID（ユーザA）が含まれる。このアドレス要求を送信するために、PDA21には、メッセージングサーバアドレス管理サーバ6のアドレスまたはFQDNが予め記憶され、PDA21は、この記憶されたアドレスまたはFQDNに基づいてメッセージングサーバアドレス管理サーバ6にアドレス要求を送信する。他の端

末 2 2 ~ 2 r も同様である。

#### 【0 1 8 0】

メッセージングサーバアドレス管理サーバ 6 は、アドレス要求に含まれるユーザ I D に対応したメッセージングサーバアドレス M A を、アドレス応答として、P D A 2 1 に返信する。

#### 【0 1 8 1】

P D A 2 1 は、アドレス応答により返信されたメッセージングサーバアドレス M A によりメッセージングサーバ 3 1 に端末登録要求を送信する。これにより、メッセージングサーバ 3 1 は P D A 2 1 を登録し ( S 6 4 ) , 以後、第 1 の実施の形態と同様にして、登録された端末である P D A 2 1 にコンテンツが配信される。

#### 【0 1 8 2】

なお、メッセージングサーバアドレス管理テーブルのメッセージングサーバアドレスは、I P アドレスであってもよいし、F Q D N であってもよい。F Q D N の場合には、端末は、D N S 等を使用して、F Q D N から、メッセージングサーバの I P アドレスを取得することとなる。

#### 【0 1 8 3】

##### < 第 3 の実施の形態 >

##### [メッセージングシステムの構成]

第 1 の実施の形態におけるメッセージングサーバの機能を分割して複数のサーバに分散することもできる。第 3 の実施の形態では、メッセージングサーバの機能が分割され、コンテンツ送信サーバ、ホームエージェント ( H A : Home Agent ) サーバ、およびホームエージェント ( H A ) アドレス管理サーバに分散配置される。

#### 【0 1 8 4】

図 2 1 は、本発明の第 3 の実施の形態によるメッセージングシステム 3 0 0 の全体構成を示すブロック図である。

#### 【0 1 8 5】

メッセージングシステム 3 0 0 は、無線タグ 1 , r 個の端末 2 1 ~ 2 r , コン

テンツ送信サーバ7，複数（s 個：s は2以上の整数）のH Aサーバ8 1～8 s，H Aアドレス管理サーバ9，およびコンテンツサーバ4を有する。第1の実施の形態によるメッセージングシステム100（図1参照）と同じ構成要素（無線タグ1，端末2 1～2 r，およびコンテンツサーバ4）には同じ符号を付し，その詳細な説明を省略する。なお，コンテンツ送信サーバ，H Aアドレス管理サーバ，およびコンテンツサーバ4は，それぞれ複数設けられてもよい。

#### 【0 1 8 6】

コンテンツ送信サーバ7は，コンテンツサーバ4からコンテンツを取得し，取得したコンテンツをH Aサーバ8 1～8 sのうち，該コンテンツを所望するユーザを収容するH Aサーバに送信する。コンテンツ送信サーバ7は，メッセージングサーバ3と同様に，内部にデータベース（DB）を有し，このDBにユーザコンテンツ管理テーブルを記憶する。

#### 【0 1 8 7】

図2 2は，コンテンツ送信サーバ（内部のDB）に保持されるユーザコンテンツ管理テーブルの一例を示している。

#### 【0 1 8 8】

このユーザコンテンツ管理テーブルは，ユーザが所望するコンテンツおよびコンテンツの配信条件を管理するテーブルであり，ユーザがメッセージングサービスに加入する際に，ユーザから提供された加入情報に基づいてサービスプロバイダ等により作成されるか，または，加入後，いずれかの端末2 iを介してユーザにより作成される。

#### 【0 1 8 9】

このユーザコンテンツ管理テーブルは，ユーザIDごとに設けられ，ユーザIDによりインデックスおよび検索される。図2 2は，ユーザID＝ユーザAのユーザコンテンツ管理テーブルの例を示し，他にユーザBやC等が存在する場合には，ユーザBのユーザコンテンツ管理テーブル，ユーザCのユーザコンテンツ管理テーブル等が設けられることとなる。

#### 【0 1 9 0】

ユーザコンテンツ管理テーブルは，ユーザID，コンテンツアドレス（URL



），配信契機，更新時刻，および配信条件のデータ項目を有する。

#### 【0 1 9 1】

ユーザ I D には，前述した第 1 の実施の形態におけるユーザ I D と同様に N A I を用いることもできるし， I P アドレス（ユーザのホームアドレス）を用いることもできる。コンテンツアドレス，配信契機，更新時刻，および配信条件の各データ項目は，前述した第 1 の実施の形態におけるユーザコンテンツ管理テーブル（図 4（A）および（B）参照）のものと同一であるので，ここでは説明を省略する。

#### 【0 1 9 2】

図 2 1 に戻って，H A サーバ 8 1 ～ 8 s は，ユーザを収容し，ユーザが使用する端末が登録されるサーバである。この端末の登録により，H A 8 1 ～ 8 s は，端末管理テーブルを作成し保持する。

#### 【0 1 9 3】

図 2 3 は，H A サーバにより保持される端末管理テーブルの一例を示している。端末管理テーブルは，端末の情報を管理するテーブルである。この端末管理テーブルは，端末がユーザの個人所有の端末（例えば P D A や携帯電話機）の場合には，プロバイダが保持する管理端末を介して，H A サーバ 8 1 ～ 8 s にあらかじめ作成（登録）することもできるし，コンテンツを取得する際に，任意の端末 2 i を介して H A サーバ 8 1 ～ 8 s に作成することもできる。

#### 【0 1 9 4】

また，端末 2 i がキオスク端末やインターネットカフェ等に設置された端末のように，誰もが使用可能な端末の場合には，事前に登録するのは難しいと考えられるため，ユーザ自身が操作する端末を介して，コンテンツ取得の際に作成されることとなる。

#### 【0 1 9 5】

この端末管理テーブルは，ユーザ I D ごとに設けられ，ユーザ I D によりインデックスおよび検索される。図 2 3 は，ユーザ I D = ユーザ A の端末管理テーブルの例を示し，他にユーザ B や C 等が存在する場合には，ユーザ B の端末管理テーブル，ユーザ C の端末管理テーブル等が設けられることとなる。

**【0196】**

端末管理テーブルは、ユーザID、端末ID、端末アドレス、コンテンツ形式、配信モード、および配信回数を有する。

**【0197】**

ユーザIDは、前述したユーザコンテンツ管理テーブル（図22参照）で説明したものと同一である。端末ID、端末アドレス、コンテンツ形式、配信モード、配信回数は、前述した第1の実施の形態におけるものと同一であるので、ここでは説明を省略する。

**【0198】**

図21に戻って、HAアドレス管理サーバは、各ユーザを収容するHAのアドレスを管理するサーバであり、この管理を行うために、内部のDBにHAアドレス管理テーブルを保持する。

**【0199】**

図24は、HAアドレス管理テーブルの一例を示している。HAアドレス管理テーブルは、ユーザIDと、該ユーザIDのユーザを収容するHAのアドレス（HAアドレス）とのデータ項目を有する。

**【0200】**

ユーザIDは、前述したユーザコンテンツ管理テーブルのものと同一である。HAアドレスは、ユーザIDのユーザを収容するHAサーバのアドレスである。HAアドレスはIPアドレスであってもよいし、FQDNであってもよい。

**【0201】**

[メッセージングシステムの動作]

図25は、メッセージングシステム300の処理の流れを示すシーケンス図である。ここでは、一例として、ユーザに使用される端末はPDA21とする。

**【0202】**

先ずユーザ（ユーザAとする。）は、メッセージングサービス加入時にコンテンツ送信サーバ7にアクセスし、所望のコンテンツを登録する（S71）。

**【0203】**

PDA21がコンテンツ送信サーバ7にアクセスするために、PDA21には

、コンテンツ送信サーバのアドレスが予め記憶されているか、または、ユーザAにより入力される。あるいは、第2の実施の形態で説明したように、図示しないサービス受付サーバが設けられ、PDA21はこのサービス受付サーバにアクセスして、コンテンツ送信サーバにコンテンツを登録することもできる。特に、コンテンツ送信サーバが複数存在する場合には、サービス受付サーバが、コンテンツ送信サーバの負荷やユーザ収容数が均等となるように、コンテンツ送信サーバを選択することもできる。

#### 【0204】

コンテンツの登録では、ユーザID、コンテンツアドレス(URL)、配信契機、更新時期、配信条件、および配信モードがPDA21からコンテンツ送信サーバ7に送信される。ユーザIDが、コンテンツ登録の際にユーザに割り当てる場合には、ユーザIDは送信されない。

#### 【0205】

これら送信された情報のうち、ユーザID、コンテンツアドレス、配信契機、および配信条件がユーザコンテンツ管理テーブル(図22参照)としてコンテンツ送信サーバ7のDBに記憶される。配信モードは、コンテンツ送信サーバ7に一時的に記憶され、その後、ユーザ登録によりHAサーバに送信される。

#### 【0206】

続いて、コンテンツ送信サーバ7は、ユーザAをHAサーバ81～8sのいずれに収容するかを決定し、決定したHAサーバ(HAサーバ81とする。)にユーザAのユーザ登録要求を送信する。これにより、HAサーバ81は、ユーザAを登録する(S72)。

#### 【0207】

HAサーバの決定方法には、ラウンドロビン方式のように、ユーザ登録を行うごとにHAサーバを順に変えていく方法や、HAサーバの負荷、ユーザ収容数等が均等となるように決定する方法がある。なお、コンテンツ送信サーバには、HAサーバ81～8sのアドレス(IPアドレスまたはFQDN)が予め記憶されている。

#### 【0208】

ユーザ登録要求には、ユーザ I D（ユーザ A）および配信モードが含まれる。ユーザ登録により、H A サーバ 8 1 は、端末管理テーブルに、ユーザ A 用のエントリを新規に生成し、コンテンツ送信サーバ 7 から送信されたユーザ I D（ユーザ A）および配信モードがエントリに登録され、配信回数に初期値として 0 が設定される。

#### 【 0 2 0 9 】

続いて、コンテンツ送信サーバ 7 は、ユーザ A のユーザ I D とユーザ A を収容する H A サーバのアドレス（H A 1 とする。）との組を H A アドレス管理サーバ 9 に送信する。これにより、H A アドレス管理サーバ 9 は、H A アドレス管理テーブルに、コンテンツ送信サーバ 7 から送信されたユーザ I D および H A アドレスの組に登録する（S 7 3，図 2 4 参照）。

#### 【 0 2 1 0 】

なお、ユーザ I D として固定的な I P アドレスが用いられる場合には、Mobile IP のように、I P アドレス（すなわちユーザ I D）宛に送信されたコンテンツは、ユーザ A を収容する H A サーバ 8 1（H A 1）に一旦送信され、H A サーバ 8 1 からユーザ A の使用する端末 2 1 に転送される。したがって、この場合には、H A サーバが決定された後（または H A アドレス登録が行われた後）に、I P アドレス、すなわちユーザ I D が判明する。よって、H A サーバの決定後（または H A アドレス登録後）に、ユーザ I D を記憶した無線タグ 1 がユーザに与えられ、または、前もってユーザに与えられた無線タグ 1 にユーザ I D が記憶されることとなる。

#### 【 0 2 1 1 】

次に、コンテンツの配信を受ける場合に、ユーザ A の P D A 2 1 は、ユーザ A が保持する無線タグ 1 からユーザ I D を読み取る（S 7 4）。ユーザ I D の読み取り後、P D A 2 1 は、ユーザ I D を含む H A アドレス要求を H A アドレス管理サーバ 9 に送信する。H A アドレス管理サーバ 9 は、H A アドレス管理テーブルを参照して、ユーザ A を収容する H A サーバのアドレス（H A 1）を P D A 2 1 に応答する。

#### 【 0 2 1 2 】

PDA 2 1 は、応答された HA サーバのアドレス HA 1 に基づいて、ユーザ A を収容する HA サーバ 8 1 に端末登録要求を送信し、自らを登録する。この端末登録要求には、ユーザ ID に加えて、PDA 2 1 の端末 ID、端末アドレス A 1、およびテキスト形式が含まれる。端末登録要求に含まれるこれらの情報に基づいて、HA サーバ 8 1 は、端末管理テーブル（図 2 3 参照）のユーザ ID に対応するエントリに、端末 ID、端末アドレス、およびコンテンツ形式を登録する（S 7 5）。

#### 【0 2 1 3】

その後、コンテンツ送信サーバ 7 は、ユーザ A のユーザコンテンツ管理テーブル（図 2 2 参照）のコンテンツアドレスに基づいてコンテンツサーバ 4 にコンテンツ要求を送信し、その応答としてコンテンツを取得する（S 7 6）。

#### 【0 2 1 4】

続いて、コンテンツ送信サーバ 7 は、ユーザ A のユーザコンテンツ管理テーブルの配信契機および配信条件に従ってコンテンツを配信する（S 7 7）。コンテンツは、ユーザ A を収容する HA サーバ 8 1 に配信され、HA サーバ 8 1 から PDA 2 1 に転送される。

#### 【0 2 1 5】

コンテンツ送信サーバ 7 がコンテンツを HA サーバ 8 1 に配信するために、コンテンツ送信サーバ 7 は、HA アドレス管理サーバ 9 に、HA サーバ 8 1 の HA アドレスを要求する。この HA アドレス要求には、ユーザ ID（ユーザ A）が含まれる。HA アドレス要求を受信した HA アドレス管理サーバ 9 は、HA アドレス要求に含まれるユーザ ID に対応する HA アドレスを、HA アドレス管理テーブルから参照してコンテンツ管理サーバ 7 に応答する。この応答された HA アドレスに基づいて、コンテンツ送信サーバ 7 は、コンテンツを HA サーバ 8 1 に送信する。

#### 【0 2 1 6】

なお、前述したステップ S 7 2 において、コンテンツ送信サーバ 7 は HA サーバを決定している。この時、コンテンツ送信サーバ 9 は HA アドレスをユーザ ID に対応させて保存しておき、この保存した HA アドレスをコンテンツ配信時に

使用することもできる。これにより，H A アドレス管理サーバ 9 から H A アドレスを得ることなく，H A サーバ 8 1 にコンテンツを送信することができ，通信コストが削減される。

#### 【 0 2 1 7 】

また，ユーザ I D として固定的な I P アドレスが使用される場合には，コンテンツ送信サーバ 7 が H A アドレスを保存していなくても，H A アドレス管理サーバ 9 への H A アドレス要求（および H A アドレス応答）の通信は省略することができる。すなわち，この場合には，前述したように，MobileIP と同様のユーザ I D および H A のアドレス体系により，ユーザ I D 宛てに送信されたコンテンツは，通信ネットワーク 5 により，ユーザを収容する H A サーバに送信されるからである。なお，この場合に，ホームエージェントサーバと該ホームエージェントサーバに収容されるユーザに割り当てられるユーザ識別子（すなわち MobileIP のホームアドレスに相当する識別子）は，同じサブネットに属するように割り振られ，ホームエージェントサーバは，該サブネットの入口に存在するゲートウェイとして位置付けられる。

#### 【 0 2 1 8 】

コンテンツ送信サーバ 7 は，コンテンツと共に，ユーザ A のユーザ I D も H A サーバ 8 1 に送信する。

#### 【 0 2 1 9 】

H A サーバ 8 1 は，コンテンツと共に送信されたユーザ I D （ユーザ A ）を受信すると，ユーザ I D に対応する端末管理テーブル（図 2 3 参照）の端末アドレス，コンテンツ形式等を参照する。続いて，H A サーバ 8 1 は，参照したコンテンツ形式に基づいてコンテンツの変換の必要がある場合には，コンテンツ形式を変換する。続いて，H A サーバ 8 1 は，参照した端末アドレスに従ってコンテンツ（または変換後のコンテンツ）を端末（すなわち P D A 2 1 ）に送信する。これにより，コンテンツは，P D A 2 1 の表示装置等に出力され，ユーザ A は，コンテンツを視聴／聴視することができる。

#### 【 0 2 2 0 】

なお，ユーザ I D として I P アドレス（ホームアドレス）が使用される場合に



は、ユーザID宛てに送信されたコンテンツが端末アドレスに転送される処理は、MobileIPにおけるホームアドレス（ユーザID）に送信されたパケットが気付アドレス（端末アドレス）に転送される処理と同様に考えることができる。

#### 【0221】

ユーザIDとしてIPアドレスが使用される形態では、コンテンツ送信サーバ7は、コンテンツのヘッダの宛先アドレスにユーザIDを設定して、コンテンツ（パケット）をHAサーバ81に送信する。この場合に、HAサーバ81は、コンテンツサーバ7からのコンテンツ（パケット）をカプセル化して、PDA21の端末アドレス（IPアドレス）を宛先アドレスとする新たなパケットとしてPDA21に送信してもよいし、あるいは、コンテンツサーバ7からのパケットのヘッダを取り除き、PDA21の端末アドレスを宛先アドレスとする新たなヘッダを付与して送信してもよい。

#### 【0222】

同一のHAサーバ（81とする）に収容される複数のユーザに同一のコンテンツを配信する場合には、コンテンツ送信サーバ7からHAサーバにコンテンツを1度だけ送信し、該コンテンツを複数の端末に送信することができる。

#### 【0223】

図26は、同一のHAサーバ81に収容される複数のユーザに同一のコンテンツを配信する場合のシーケンス図である。この図では、HAサーバ81に収容される2人のユーザAおよびBに同一のコンテンツが送信される例が示されている。

#### 【0224】

なお、ユーザBについて各サーバで管理されるデータは、ユーザAのものと同様であるため、説明を省略する。

#### 【0225】

コンテンツ送信サーバ7は、コンテンツサーバ4からコンテンツを取得した後、端末管理テーブルにより、コンテンツの送信対象を求める。ここでは、送信対象として、ユーザAおよびBの複数のユーザが求められる。これにより、コンテンツ送信サーバ7は、各ユーザを収容しているHAサーバのアドレスをHAアド

レス管理サーバ 9 から取得する。

【 0 2 2 6 】

その結果、コンテンツ送信サーバ 7 は、ユーザ A と B が同じ H A サーバ 8 1 に収容されていることを認識すると、該 H A サーバ 8 1 に、コンテンツならびにユーザ A および B のユーザ識別子を送信する。

【 0 2 2 7 】

H A サーバ 8 1 が該コンテンツを受信すると、メッセージを分析することによって該コンテンツがユーザ A および B の双方に送信される必要があることを認識し、それをユーザに対して転送する。

【 0 2 2 8 】

このように、同一コンテンツを複数のユーザに送信する場合に、コンテンツ送信サーバ 7 からのコンテンツの受信を複数のユーザに対応して複数回行うのではなく 1 回にすることにより、コンテンツ送信サーバ 7 と H A サーバとの間の通信コストを削減することができる。

【 0 2 2 9 】

(付記 1) コンテンツを配信するメッセージングサーバと、ユーザにより使用される端末とを有するメッセージングシステムであって、

前記端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信し、前記メッセージングサーバから配信されたコンテンツを受信し

、  
前記メッセージングサーバは、コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記端末に配信する

、  
メッセージングシステム。

【 0 2 3 0 】

(付記 2) 付記 1 において、

前記端末は、ユーザに携帯されて該ユーザのユーザ識別情報を記憶する無線タグと無線通信を行うことにより、前記ユーザ識別情報を該無線タグから読み出し

、該読み出した該ユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 3 1 】

(付記 3) 付記 2 において、

前記無線タグは、前記ユーザ識別情報に加えて、前記メッセージングサーバの  
識別情報をさらに記憶し、

前記端末は、前記無線タグから無線通信により前記メッセージングサーバの識  
別情報を読み出し、該読み出したメッセージングサーバの識別情報に基づいて、  
前記メッセージングサーバに前記ユーザ識別情報を送信する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 3 2 】

(付記 4) 付記 2 において、

前記端末は、該端末に設けられた所定のボタンがユーザにより操作されること  
によって、前記無線タグから前記ユーザ識別情報を読み出す、  
メッセージングシステム。

【 0 2 3 3 】

(付記 5) 付記 2 において、

前記端末は、所定の周期で、前記無線タグと無線通信を行い、前記無線タグか  
ら前記ユーザ識別情報を読み出し、新たに読み出したユーザ識別情報がこれまで  
読み出したユーザ識別情報と異なる場合に、新たに読み出したユーザ識別情報を  
前記メッセージングサーバに送信する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 3 4 】

(付記 6) 付記 5 において、

前記端末は、前記新たに読み出したユーザ識別情報がこれまで読み出したユー  
ザ識別情報と異なる場合に、さらに 1 または 2 回以上前記ユーザ識別情報を前記  
無線タグから前記所定の周期で読み出し、これら読み出したユーザ識別情報をす  
べて同じである場合に、前記ユーザ識別情報を前記メッセージングサーバに送信  
する、

メッセージングシステム。

【 0 2 3 5 】

(付記 7) 付記 2 において、

前記端末は、該端末の電源が投入された時に前記無線タグから前記ユーザ識別情報を読み出す、

メッセージングシステム。

【 0 2 3 6 】

(付記 8) 付記 2 において、

前記端末は、前記無線タグが所定の距離内に存在する場合に該無線タグと無線通信を行う、メッセージングシステム。

【 0 2 3 7 】

(付記 9) 付記 2 において、

前記端末は、前記無線タグから読み出した前記ユーザ識別情報を記憶し、記憶後、所定の周期で前記無線タグから前記ユーザ識別情報を読み出し、読み出したユーザ識別情報が、記憶されたユーザ識別情報と異なる場合、または、前記ユーザ識別情報が前記無線タグから読み出せない場合には、該記憶されたユーザ識別情報を削除すると共に、前記メッセージングサーバに該ユーザ識別情報の削除を要求し、

前記メッセージングサーバは、前記端末からの削除の要求に応じて、該ユーザ識別情報を削除する、

メッセージングシステム。

【 0 2 3 8 】

(付記 1 0) 付記 2 において、

前記端末は、前記無線タグから読み出した前記ユーザ識別情報を記憶し、記憶後、該端末に設けられた所定のボタンがユーザにより操作されることによって、該記憶されたユーザ識別情報を削除すると共に、前記メッセージングサーバに該ユーザ識別情報の削除を要求し、

前記メッセージングサーバは、前記端末からの削除の要求に応じて、該ユーザ識別情報を削除する、

メッセージングシステム。

【 0 2 3 9 】

(付記 1 1) 付記 2 において、

前記端末は、前記無線タグから読み出した前記ユーザ識別情報を記憶し、記憶後、該端末の電源オフ時に、該記憶されたユーザ識別情報を削除すると共に、前記メッセージングサーバに該ユーザ識別情報の削除を要求し、

前記メッセージングサーバは、前記端末からの削除の要求に応じて、該ユーザ識別情報を削除する、

メッセージングシステム。

【 0 2 4 0 】

(付記 1 2) 付記 1 において、

前記端末は、該端末の端末識別情報および端末アドレスを予め記憶し、該記憶した前記端末識別情報および端末アドレスを、前記ユーザ識別情報と共に前記メッセージングサーバに送信し、

前記メッセージングサーバは、前記端末から送信された、前記端末識別情報および前記端末アドレスを前記ユーザ識別情報に対応させて登録し、前記端末アドレスに基づいて、前記端末に前記コンテンツを送信する、

メッセージングシステム。

【 0 2 4 1 】

(付記 1 3) 付記 1 2 において、

前記端末は、該端末の移動に伴い前記端末アドレスが変更した場合には、該変更した端末アドレスを前記端末識別情報と共に前記メッセージングサーバに送信し、

前記メッセージングサーバは、前記変更した端末アドレスおよび前記端末識別情報を登録する、

メッセージングシステム。

【 0 2 4 2 】

(付記 1 4) 付記 1 2 において、

前記端末は、ユーザに携帯されて該ユーザのユーザ識別情報を記憶する無線タ

グと無線通信を行うことにより、前記ユーザ識別情報を該無線タグから読み出し、該読み出した該ユーザ識別情報と共に、前記端末識別情報および端末アドレスを前記メッセージングサーバに送信すると共に、該端末に設けられた所定のボタンが操作された場合、新たに読み出したユーザ識別情報がこれまで読み出した無線情報と異なる場合、ユーザ識別情報が読み出せない場合、または該端末の電源がオフされた場合に、前記メッセージングサーバに前記登録の削除を要求し、

前記メッセージングサーバは、前記端末からの登録削除の要求に応じて前記登録を削除する、

メッセージングシステム。

#### 【 0 2 4 3 】

(付記 1 5) 付記 1 において、

前記端末は、該端末が出力可能なコンテンツ形式を記憶し、該記憶したコンテンツ形式を前記ユーザ識別情報と共に前記メッセージングサーバに送信し、

前記メッセージングサーバは、前記保持したコンテンツの形式と前記端末から送信されたコンテンツ形式とが異なる場合に、前記保持したコンテンツを前記端末から送信されたコンテンツ形式に変換し、変換後のコンテンツを前記端末に配信する、

メッセージングシステム。

#### 【 0 2 4 4 】

(付記 1 6) 付記 1 において、

前記メッセージングサーバは、コンテンツを保持するコンテンツサーバから前記コンテンツを取得する、メッセージングシステム。

#### 【 0 2 4 5 】

(付記 1 7) 付記 1 6 において、

前記メッセージングサーバは、前記ユーザのコンテンツの配信条件を記憶し、前記コンテンツサーバから取得したコンテンツのうち、該配信条件を満たすコンテンツを前記端末に配信する、

メッセージングシステム。

#### 【 0 2 4 6 】



(付記 1 8) 付記 1 6 において、

前記メッセージングサーバは、所定の周期で前記コンテンツサーバからコンテンツを取得し、新たに取得したコンテンツの生成時刻または更新時刻と、前回取得したコンテンツの生成時刻または更新時刻とが異なる場合に、該新たに取得したコンテンツを前記端末に配信する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 4 7 】

(付記 1 9) 付記 1 6 において、

前記メッセージングサーバは、所定の周期で前記コンテンツサーバからコンテンツを取得し、新たに取得したコンテンツの内容が、前回取得したコンテンツの内容と異なる場合に、該新たに取得したコンテンツを前記端末に配信する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 4 8 】

(付記 2 0) 付記 1 6 において、

前記メッセージングサーバは、前記コンテンツの更新特性を保持し、該更新特性に基づいて前記コンテンツサーバから前記コンテンツを取得する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 4 9 】

(付記 2 1) 付記 1 において、

前記メッセージングサーバは、前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを単一の端末に送信するか複数の端末に送信するかを示す情報を保持し、該情報が複数の端末に送信することを示している場合には、前記端末以外の他の端末に前記コンテンツを配信する、  
メッセージングシステム。

【 0 2 5 0 】

(付記 2 2) 付記 1 において、

前記メッセージングサーバは、前記端末以外の第 2 の端末から、前記ユーザ識別情報以外の第 2 のユーザ識別情報を受信し、かつ、前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツが前記第 2 のユーザ識別情報に対応するコンテンツと同一である

場合には、該コンテンツを前記端末および前記第 2 の端末に配信する、  
メッセージングシステム。

#### 【 0 2 5 1 】

(付記 2 3) 付記 1 において、  
前記メッセージングサーバは、コンテンツの前記端末への配信回数を保持し、  
該配信回数に基づいて前記ユーザに課金する、メッセージングシステム。

#### 【 0 2 5 2 】

(付記 2 4) 付記 1 において、  
ユーザ識別情報に対応したメッセージングサーバのアドレスまたは識別情報を  
保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報を受信し、該受信したユーザ識  
別情報に対応するメッセージングサーバのアドレスまたは識別情報を前記端末に  
送信するメッセージングサーバアドレス管理サーバをさらに有し、  
前記端末は、前記ユーザ識別情報を前記メッセージングサーバアドレス管理サ  
ーバに送信し、前記メッセージングサーバアドレス管理サーバから送信された、  
前記ユーザ識別情報に対応するメッセージングサーバのアドレスまたは識別情報  
に基づいてメッセージングサーバに前記ユーザ識別情報を送信する、  
メッセージングシステム。

#### 【 0 2 5 3 】

(付記 2 5) コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情  
報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持する記憶部と、  
ユーザにより使用される端末から送信されるユーザ識別情報を受信する受信部  
と、  
前記受信部により受信された前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記  
記憶部から読み出し、前記端末に配信する配信部と、  
を備えているメッセージングサーバ。

#### 【 0 2 5 4 】

(付記 2 6) コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザにより使用され  
、配信されたコンテンツを受信する端末であって、  
該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を、コンテンツを配信するメッセー

ジングサーバに送信する送信部と、

前記送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記メッセージングサーバから受信する受信部と、

前記受信部により受信されたコンテンツに対して表示、音響出力、または蓄積を含む処理を行う処理部と、  
を備えている端末。

#### 【 0 2 5 5 】

(付記 2 7) 付記 2 6 において、

ユーザ識別情報を予め記憶した無線タグと無線通信を行い、該無線タグに記憶された前記ユーザ識別情報を読み出す読み出し部をさらに備え、

前記送信部は前記読み出し部により読み出されたユーザ識別情報を送信する、  
端末。

#### 【 0 2 5 6 】

(付記 2 8) ユーザにより使用される端末と、コンテンツ送信サーバと、ホームエージェントサーバと、ホームエージェントアドレス管理サーバとを有するメッセージングシステムであって、

前記端末は、該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバに送信し、前記ホームエージェントアドレス管理サーバから返信されたホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を受信し、該受信したホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該端末を収容するホームエージェントサーバに前記ユーザ識別情報を送信し、前記ホームエージェントサーバから配信されたコンテンツを受信し、

前記ホームエージェントアドレス管理サーバは、コンテンツ配信サービスを受けるユーザのユーザ識別情報と該ユーザを収容するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報とを対応させて保持し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を前記端末に返信し、

前記コンテンツ送信サーバは、コンテンツを保持し、当該コンテンツの配信先のユーザを収容するホームエージェントサーバに、保持したコンテンツを送信し

前記ホームエージェントサーバは、前記コンテンツ送信サーバから送信されたコンテンツを受信し、前記端末から送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記端末に配信する、  
メッセージングシステム。

**【 0 2 5 7 】**

(付記 2 9) 付記 2 8 において、

前記端末は、ユーザに携帯されて該ユーザのユーザ識別情報を記憶する無線タグと無線通信を行うことにより、前記ユーザ識別情報を該無線タグから読み出し、該読み出した該ユーザ識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバに送信する、  
メッセージングシステム。

**【 0 2 5 8 】**

(付記 3 0) 付記 2 8 において、

前記コンテンツ送信サーバは、ユーザ識別情報と該ユーザ識別情報のユーザの所望するコンテンツとを対応させて保持し、該保持したユーザ識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバに送信し、前記ホームエージェントアドレス管理サーバから返信された、前記ユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該ユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記ホームエージェントサーバに送信する、  
メッセージングシステム。

**【 0 2 5 9 】**

(付記 3 1) 付記 2 8 において、

前記コンテンツ送信サーバは、ユーザ識別情報と該ユーザ識別情報のユーザの所望するコンテンツを保持するコンテンツサーバのアドレスとを対応させて保持し、該保持したユーザ識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバに送信し、前記ホームエージェントアドレス管理サーバから返信された、前記ユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該ユーザ識別情報に対応するコンテンツサーバのアドレスから取得した

コンテンツを前記ホームエージェントサーバに送信する、  
メッセージングシステム。

【0 2 6 0】

(付記 3 2) 付記 2 8 において、  
前記ユーザ識別情報が、該ユーザ識別情報宛てにコンテンツを送信すると該ユーザを収容するホームエージェントサーバに該コンテンツが受信される固定的なアドレスである場合に、

前記コンテンツ送信サーバは、該ユーザ識別情報宛てにコンテンツを送信し、  
前記ホームエージェントサーバは、該ユーザ識別情報宛に送信されたコンテンツを、該ユーザ識別情報を送信した端末に転送する、  
メッセージングシステム。

【0 2 6 1】

(付記 3 3) 付記 2 8 において、  
前記ユーザ識別情報が、該ユーザ識別情報宛てにコンテンツを送信すると該ユーザを収容するホームエージェントサーバに該コンテンツが受信される固定的なアドレス以外の情報である場合に、

前記コンテンツ送信サーバは、前記ユーザ識別情報のユーザを収容するホームエージェントサーバ宛てにコンテンツを送信し、

前記ホームエージェントサーバは、前記コンテンツ送信サーバからのコンテンツを、該ユーザ識別情報を送信した端末に転送する、  
メッセージングシステム。

【0 2 6 2】

(付記 3 4) 付記 2 8 において、  
同一のコンテンツを所望するユーザが複数存在し、かつ、該複数のユーザが同一のホームエージェントサーバに収容されている場合に、

前記コンテンツ送信サーバは、前記同一のコンテンツを送信する際に、前記複数のユーザのユーザ識別情報をコンテンツに設定して前記ホームエージェントサーバに送信し、

前記ホームエージェントサーバは、前記コンテンツ送信サーバから送信された

コンテンツに設定された複数のユーザ識別情報のそれぞれの端末に該コンテンツを配信する、

メッセージングシステム。

### 【 0 2 6 3 】

(付記 3 5) コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザにより使用され、配信されたコンテンツを受信する端末であって、

該端末を使用するユーザのユーザ識別情報を、コンテンツを配信するホームエージェントサーバのアドレスを管理するホームエージェントアドレス管理サーバに送信する第 1 送信部と、

前記第 1 送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報を前記ホームエージェントアドレス管理サーバから受信する第 1 受信部と、

前記第 1 受信部により受信されたホームエージェントサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、前記ホームエージェントサーバにユーザ識別情報を送信する第 2 送信部と、

前記第 2 送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するコンテンツを前記ホームエージェントサーバから受信する第 2 受信部と、

前記第 2 受信部により受信されたコンテンツに対して表示、音響出力、または蓄積を含む処理を行う処理部と、

を備えている端末。

### 【 0 2 6 4 】

(付記 3 6) 付記 3 5 において、

ユーザ識別情報を予め記憶した無線タグと無線通信を行い、該無線タグに記憶された前記ユーザ識別情報を読み出す読み出し部をさらに備え、

前記第 1 送信部および第 2 送信部は前記読み出し部により読み出されたユーザ識別情報を送信する、

端末。

### 【 0 2 6 5 】

(付記 3 7) コンテンツ配信サービスの提供を受けるユーザのユーザ識別情



報と該ユーザの所望するコンテンツとを対応させて記憶する記憶部と、

前記ユーザ識別情報のユーザを収容し、かつ、前記ユーザ識別情報を送信した端末に該ユーザ識別情報のユーザの所望するコンテンツを送信するホームページサーバに、前記ユーザ識別情報に対応するコンテンツを送信するコンテンツ送信部と、

を備えているコンテンツ送信サーバ。

#### 【 0 2 6 6 】

(付記 3 8) 付記 3 7 において、

前記ユーザ識別情報と該ユーザ識別情報のユーザを収容するホームページサーバのアドレスまたは識別情報とを対応させて記憶するホームページアドレス管理サーバに、前記ユーザ識別情報を送信するユーザ識別情報送信部と

前記ユーザ識別情報送信部により送信されたユーザ識別情報に対応するホームページサーバのアドレスまたは識別情報を前記ホームページアドレス管理サーバから受信する受信部と、

をさらに備え、

前記コンテンツ送信部は、前記受信部により受信されたホームページサーバのアドレスまたは識別情報に基づいて、該ホームページサーバに前記コンテンツを送信する、

コンテンツ送信サーバ。

#### 【 0 2 6 7 】

(付記 3 9) ユーザを収容し、該ユーザの使用する端末に、該ユーザの所望するコンテンツを配信するホームページサーバであって、

ユーザにより使用され、かつ、コンテンツを受信する端末から送信された該ユーザのユーザ識別情報を受信するユーザ識別情報受信部と、

コンテンツ送信サーバから送信された、該ユーザ識別情報に対応するコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、

前記コンテンツ受信部により受信されたコンテンツを前記端末に転送する転送部と、

を備えているホームエージェントサーバ。

## 【 0 2 6 8 】

### 【発明の効果】

本発明によると、ユーザの所望するテキストデータ、画像データ、動画データ、音声データ等の種々のコンテンツないしは情報を、ユーザの移動に伴って、ユーザの近傍に位置する端末に送信することができる。また、本発明によると、端末へのユーザの登録操作を簡便にすることができる。さらに、本発明によると、端末の能力や特性に応じてコンテンツを変換し、変換されたコンテンツを端末に配信することができる。

### 【図面の簡単な説明】

#### 【図 1】

本発明の第 1 の実施の形態によるメッセージングシステムの全体構成を示すブロック図である。

#### 【図 2】

端末の構成を示すブロック図である。

#### 【図 3】

メッセージングサーバの構成を示すブロック図である。

#### 【図 4】

(A) および (B) は、ユーザコンテンツ管理テーブルの例を示し、(A) はコンテンツ配信前のものを、(B) はコンテンツ配信後のものを、それぞれ示す。

#### 【図 5】

(A) および (B) は、コンテンツ管理テーブルの例を示し、(A) はコンテンツ形式が変換されたファイルの作成前のものを、(B) はコンテンツ形式が変換されたファイルの作成後のものを、それぞれ示す。

#### 【図 6】

(A) および (B) は、端末管理テーブルの例を示し、(A) は端末アドレスの変更前のテーブルを、(B) は端末アドレスの変更後のテーブルを、それぞれ示す。

**【図 7】**

メッセージングシステムの処理の流れを示すシーケンス図である。

**【図 8】**

図 7 のステップ S 2 のタグ情報読み出しフローを示すフローチャートである。

**【図 9】**

図 7 のステップ S 4 のコンテンツ取得処理の流れを示すフローチャートである。

**【図 1 0】**

図 7 のステップ S 5 のコンテンツ配信処理の流れを示すフローチャートである。

**【図 1 1】**

図 7 のステップ S 6 の登録削除要求送信フローを示すフローチャートである。

**【図 1 2】**

本発明の第 1 の実施の形態によるメッセージングシステムの処理の流れを示すシーケンス図である。

**【図 1 3】**

端末管理テーブルの例を示す。

**【図 1 4】**

端末の登録処理および登録削除処理を自動的に行う場合のタグ情報読み出しおよび登録削除要求送信フローを示すフローチャートである。

**【図 1 5】**

カーナビへの音声によるコンテンツ配信処理の流れを示すシーケンス図である。

**【図 1 6】**

マルチモードの場合の複数端末へのコンテンツ配信を示すシーケンス図である。

**【図 1 7】**

マルチモードのユーザの端末管理テーブルの例を示す。

**【図 1 8】**

本発明の第 2 の実施の形態によるメッセージングシステムの全体構成を示すブロック図である。

【図 1 9】

メッセージングサーバアドレス管理テーブルの一例を示す。

【図 2 0】

本発明の第 2 の実施の形態によるメッセージングシステムの処理の流れを示すシーケンス図である。

【図 2 1】

本発明の第 3 の実施の形態によるメッセージングシステムの全体構成を示すブロック図である。

【図 2 2】

コンテンツ送信サーバに保持されるユーザコンテンツ管理テーブルの一例を示す。

【図 2 3】

HAサーバにより保持される端末管理テーブルの一例を示す。

【図 2 4】

HAアドレス管理サーバにより保持されるHAアドレス管理テーブルの一例を示す。

【図 2 5】

本発明の第 3 の実施の形態によるメッセージングシステムの処理の流れを示すシーケンス図である。

【図 2 6】

同一のHAサーバに収容される複数のユーザに同一のコンテンツを配信する場合のシーケンス図である。

【符号の説明】

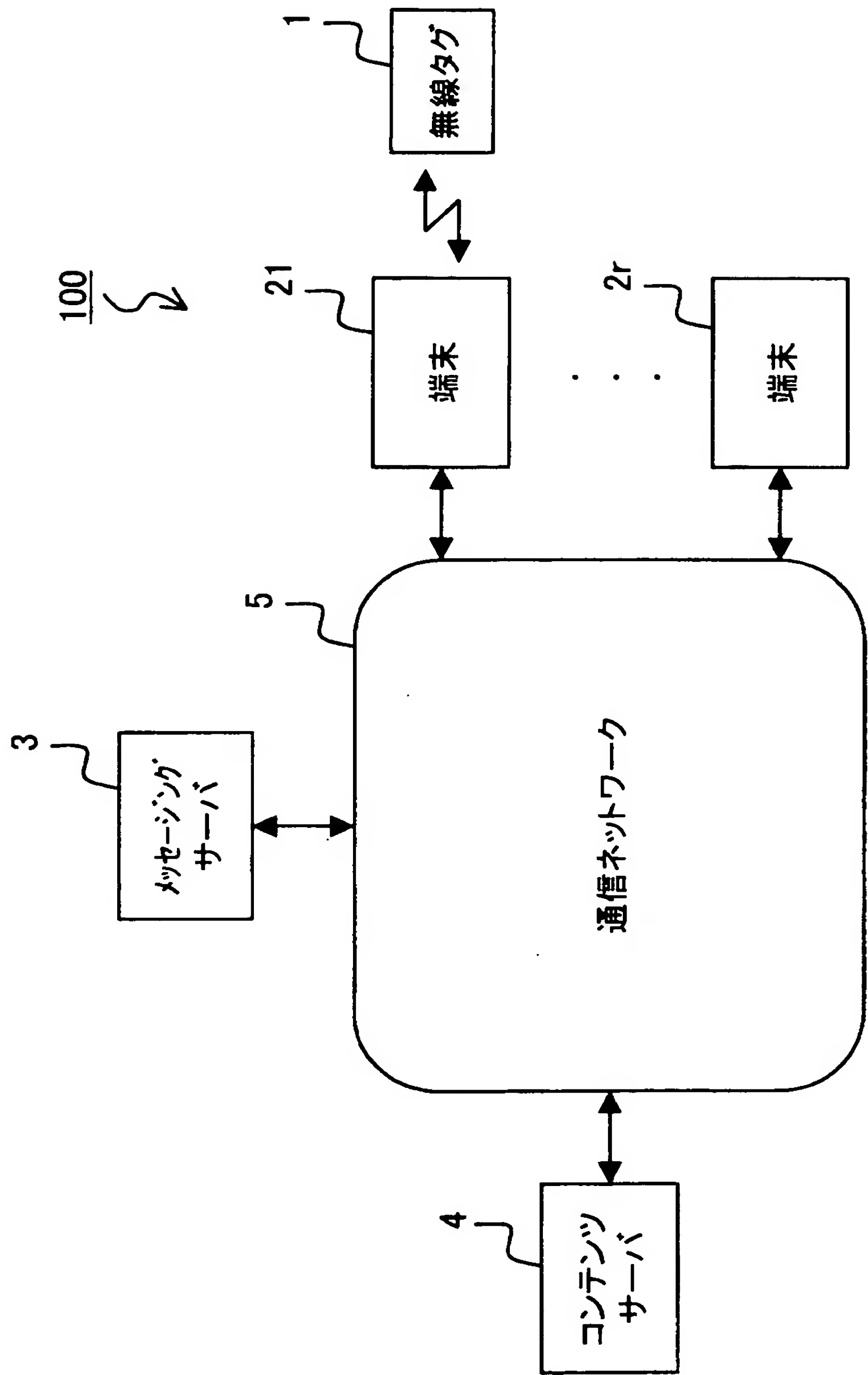
- 1 無線タグ
- 2 1 ~ 2 r 端末
- 3, 3 1 ~ 3 q メッセージングサーバ
- 4 コンテンツサーバ

- 6 メッセージングサーバアドレス管理サーバ
- 7 コンテンツ送信サーバ
- 8 1 ~ 8 s ホームエージェントサーバ (H A サーバ)
- 9 ホームエージェントアドレス管理サーバ (H A アドレス管理サーバ)

【書類名】 図面

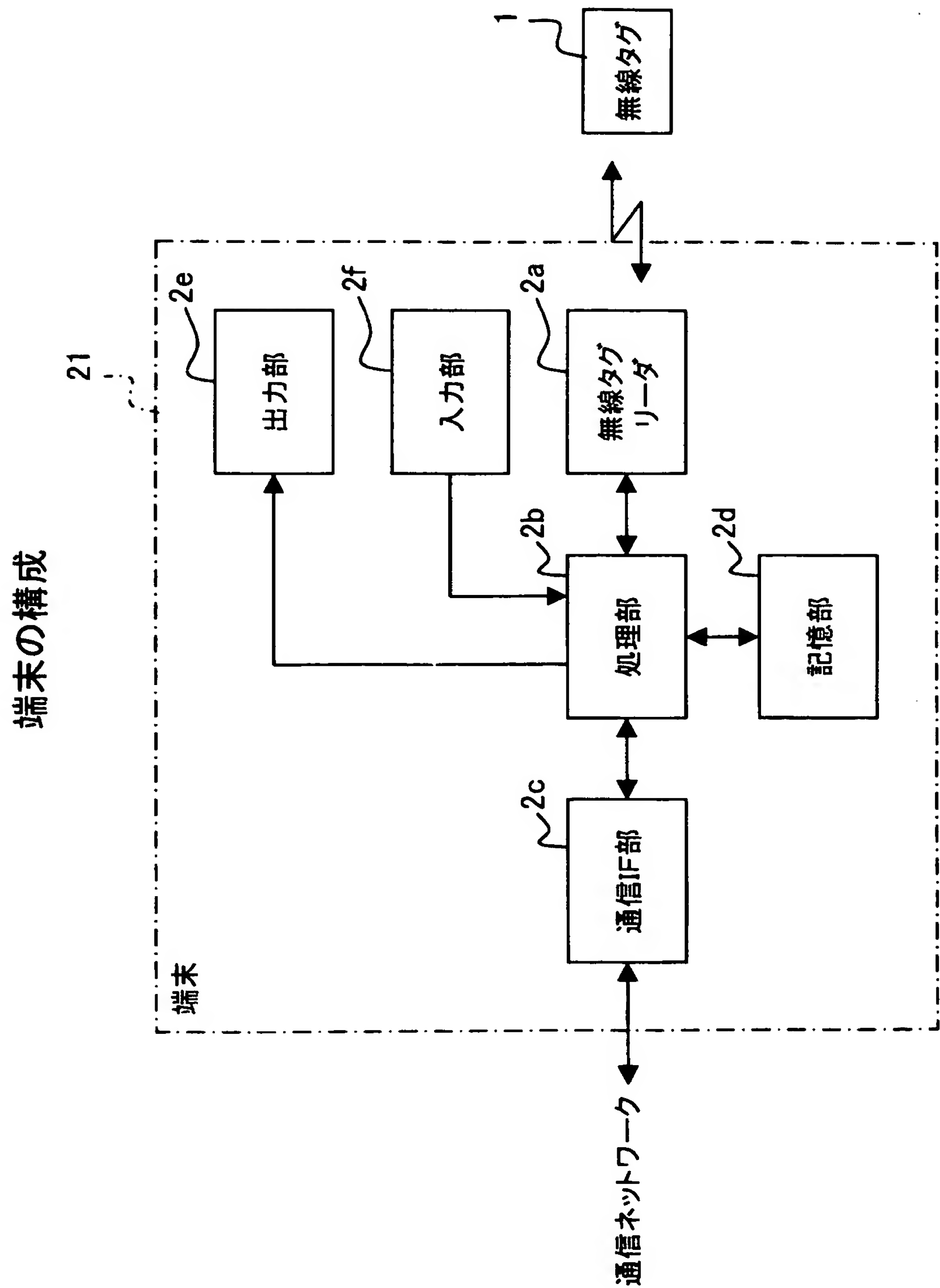
【図 1】

第1の実施の形態によるメッセージングシステムの全体構成

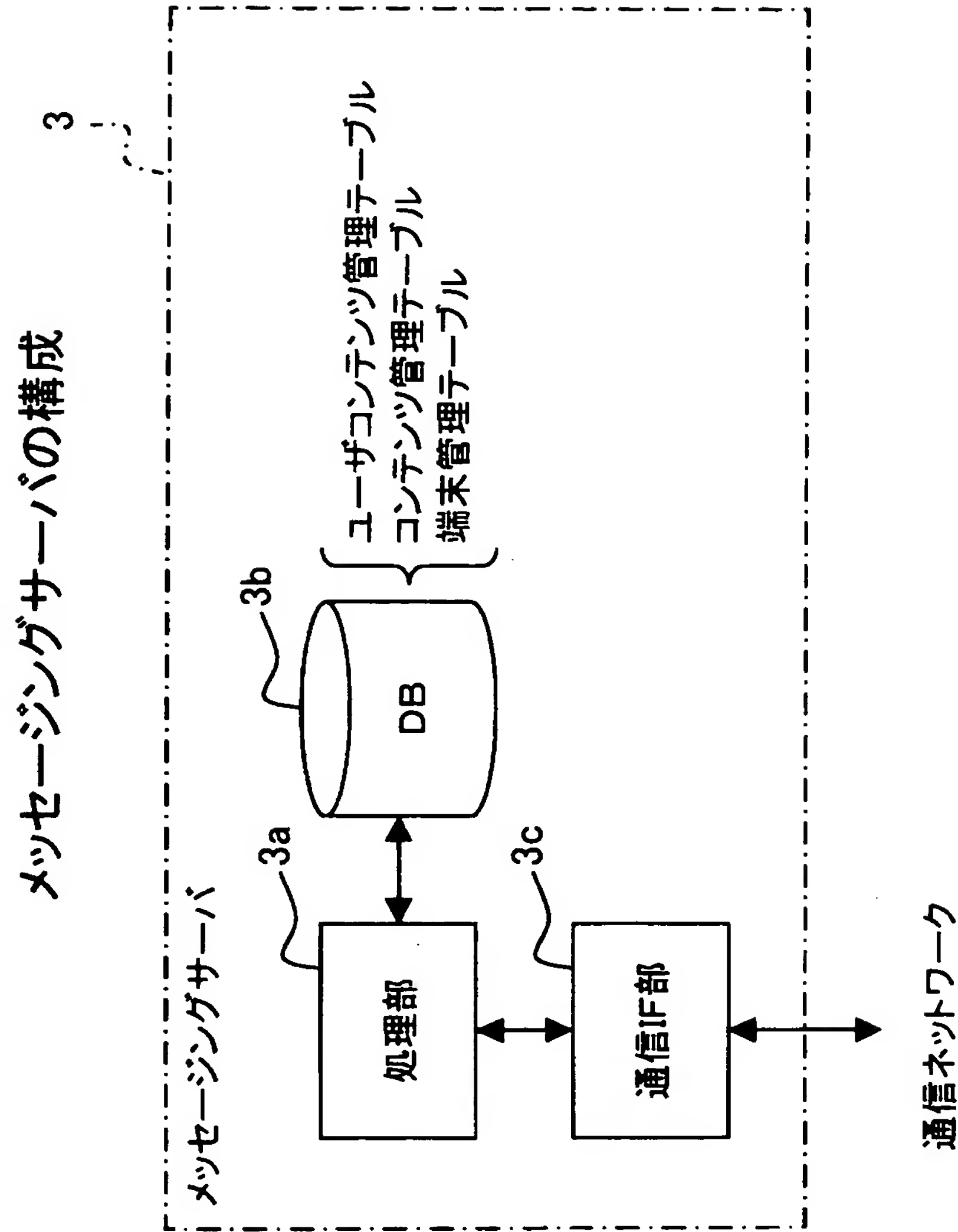




【図 2】



【図 3】



【図 4】

(A) ユーザコンテンツ管理テーブル

ユーザID: ユーザA						
コンテンツアドレス(URL)	配信モード	配信契機	更新時刻	配信条件	配信回数	
http://www.stock.com/z.html	シングル	更新時		—	0	
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	

(B) ユーザコンテンツ管理テーブル

ユーザID: ユーザA						
コンテンツアドレス(URL)	配信モード	配信契機	更新時刻	配信条件	配信回数	
http://www.stock.com/z.html	シングル	更新時	2002.07.01 13:00	—	1	
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	

【図 5】

(A)コンテンツ管理テーブル

コンテンツアドレス(URL)	更新時間帯	ファイル名
http://www.stock.com/z.html	9:00～15:00	stock/z.html
⋮	⋮	⋮

(B)コンテンツ管理テーブル

コンテンツアドレス(URL)	更新時間帯	ファイル名
http://www.stock.com/z.html	9:00～15:00	stock/z.html
		stock/z.txt
⋮	⋮	⋮

【図 6】

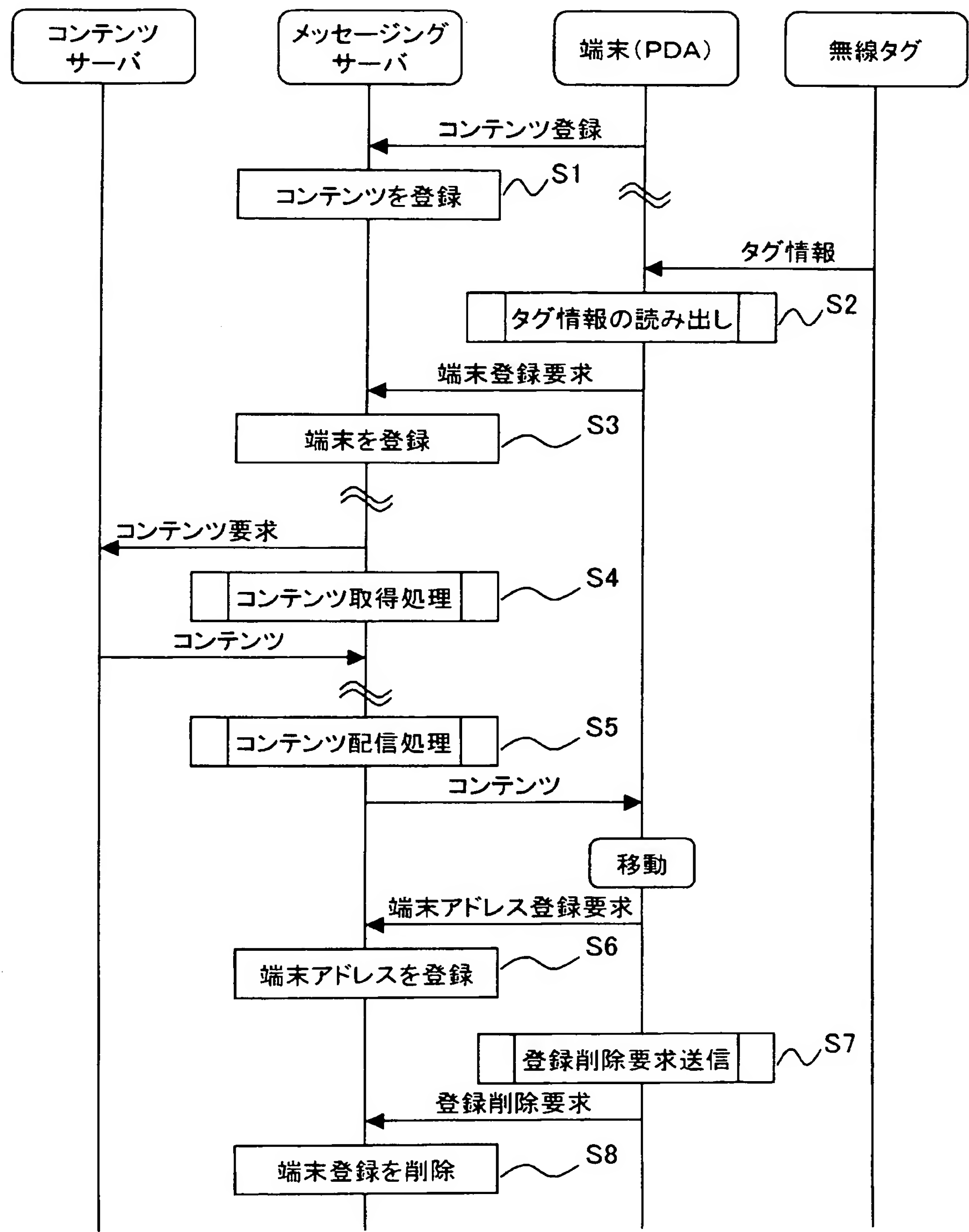
(A) 端末管理テーブル

ユーザID: ユーザA		
端末ID	端末アドレス	コンテンツ形式
T1	A1	テキスト

(B) 端末管理テーブル

ユーザID: ユーザA		
端末ID	端末アドレス	コンテンツ形式
T1	A1'	テキスト

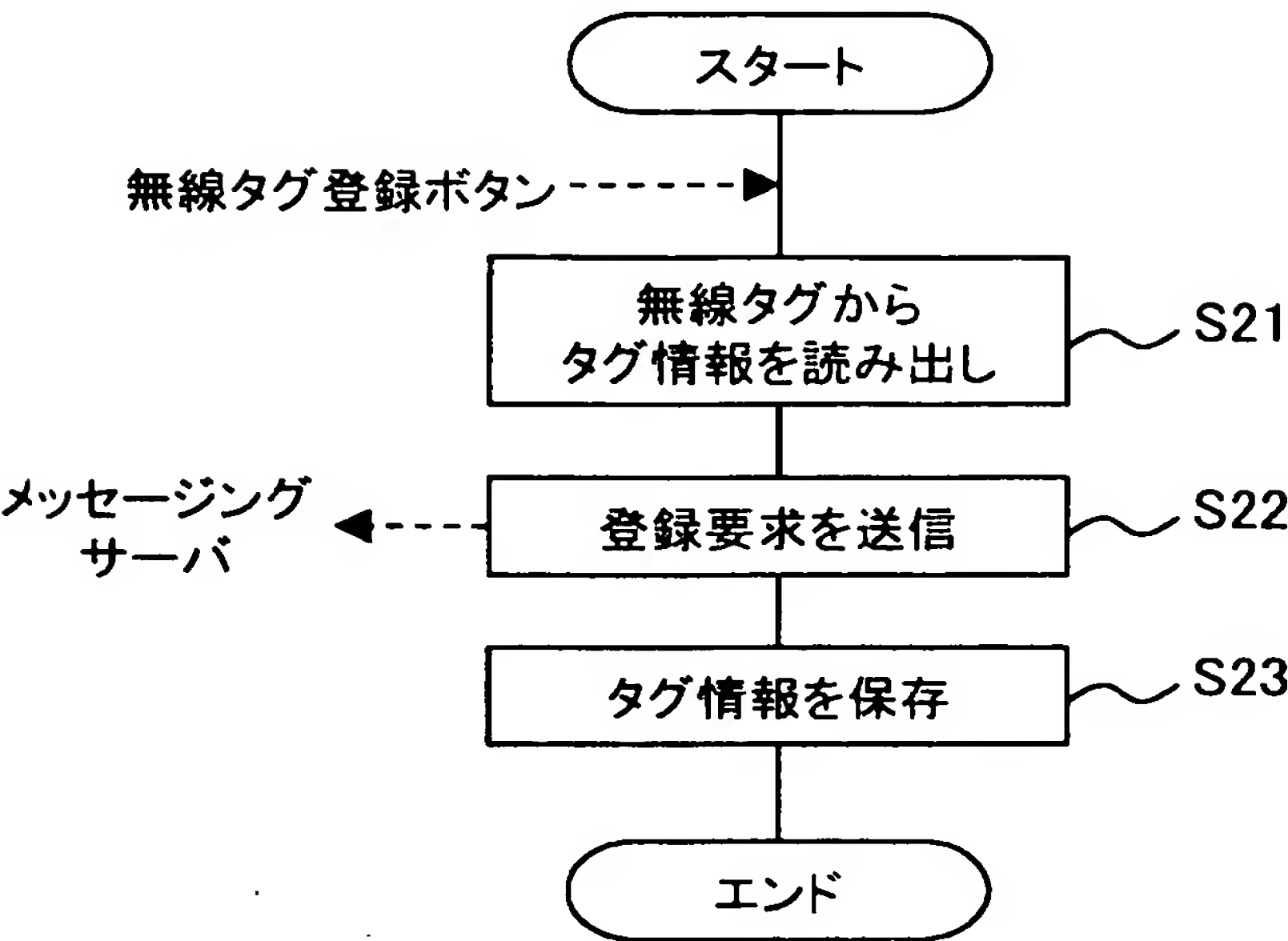
【図 7】





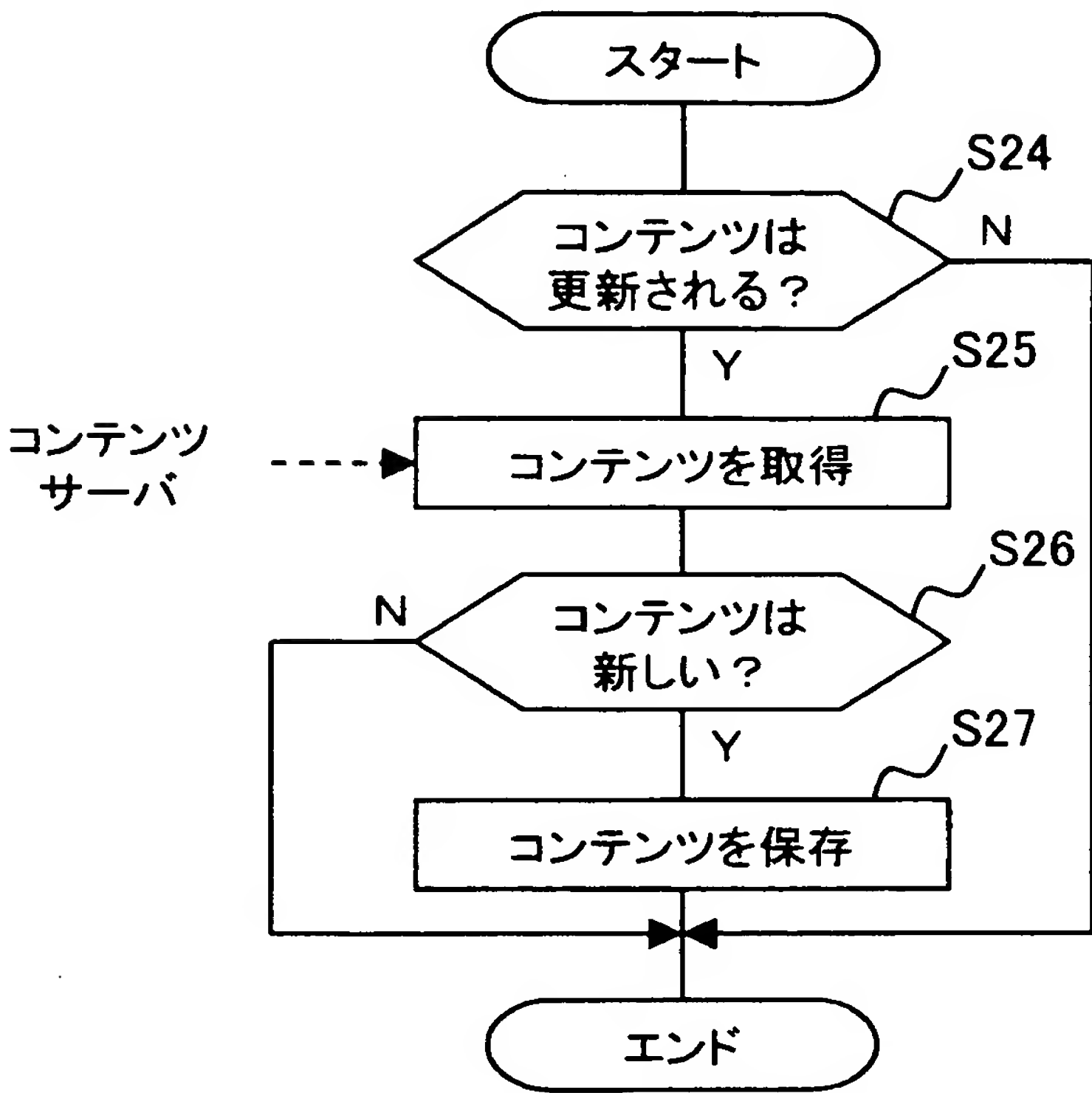
【図 8】

タグ情報読み出しフロー



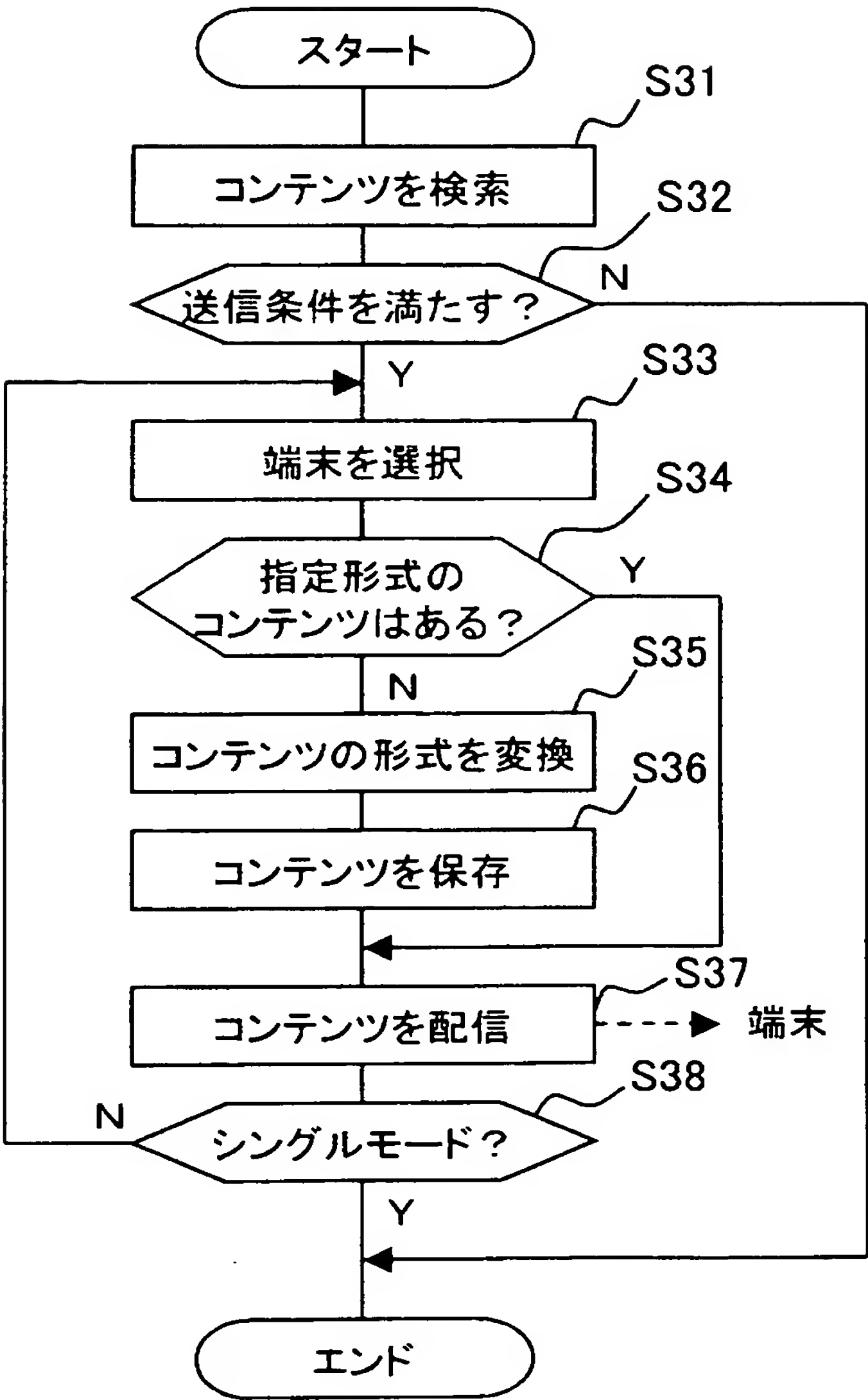
【図 9】

コンテンツ取得フロー



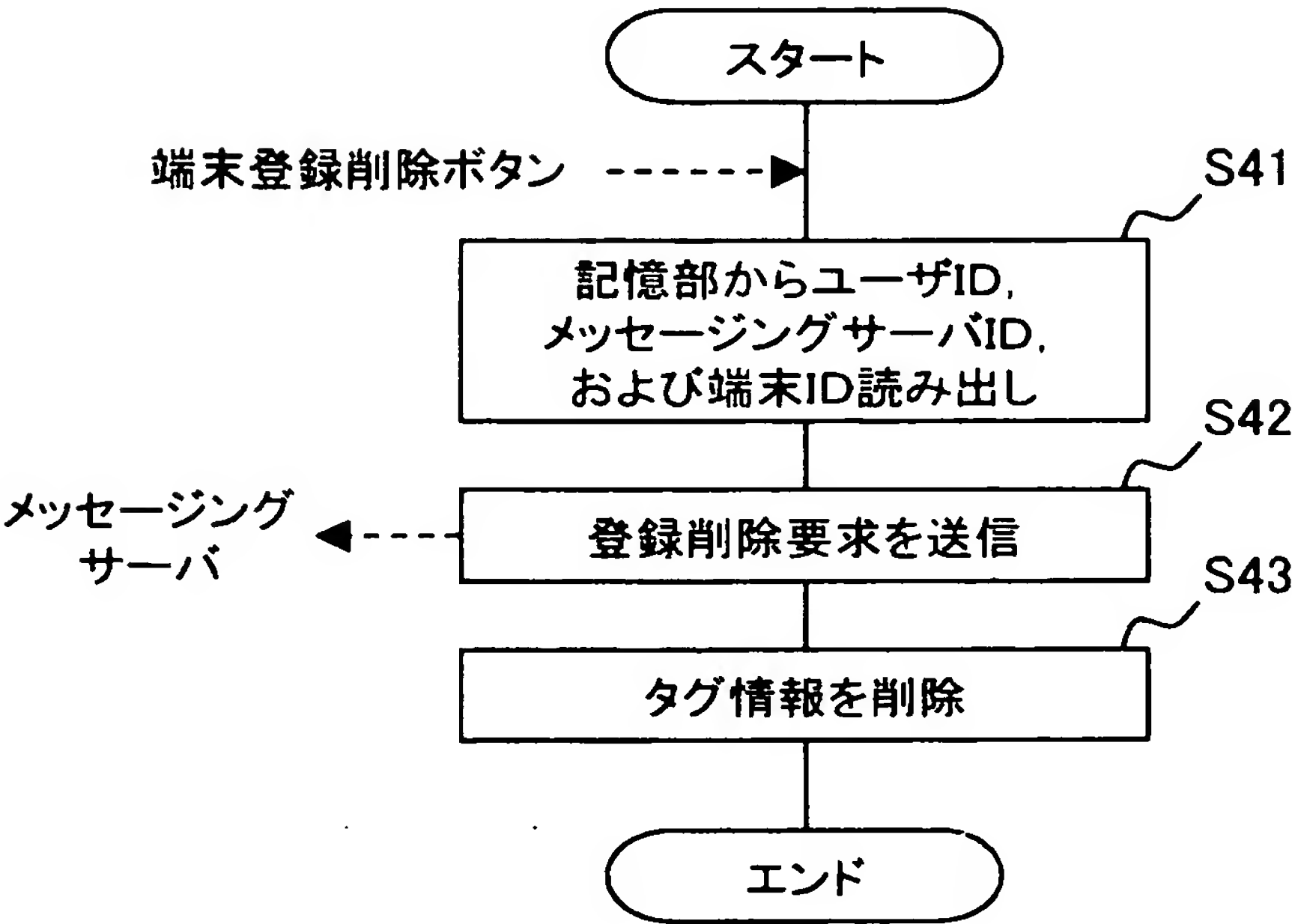
【図 10】

コンテンツ配信フロー

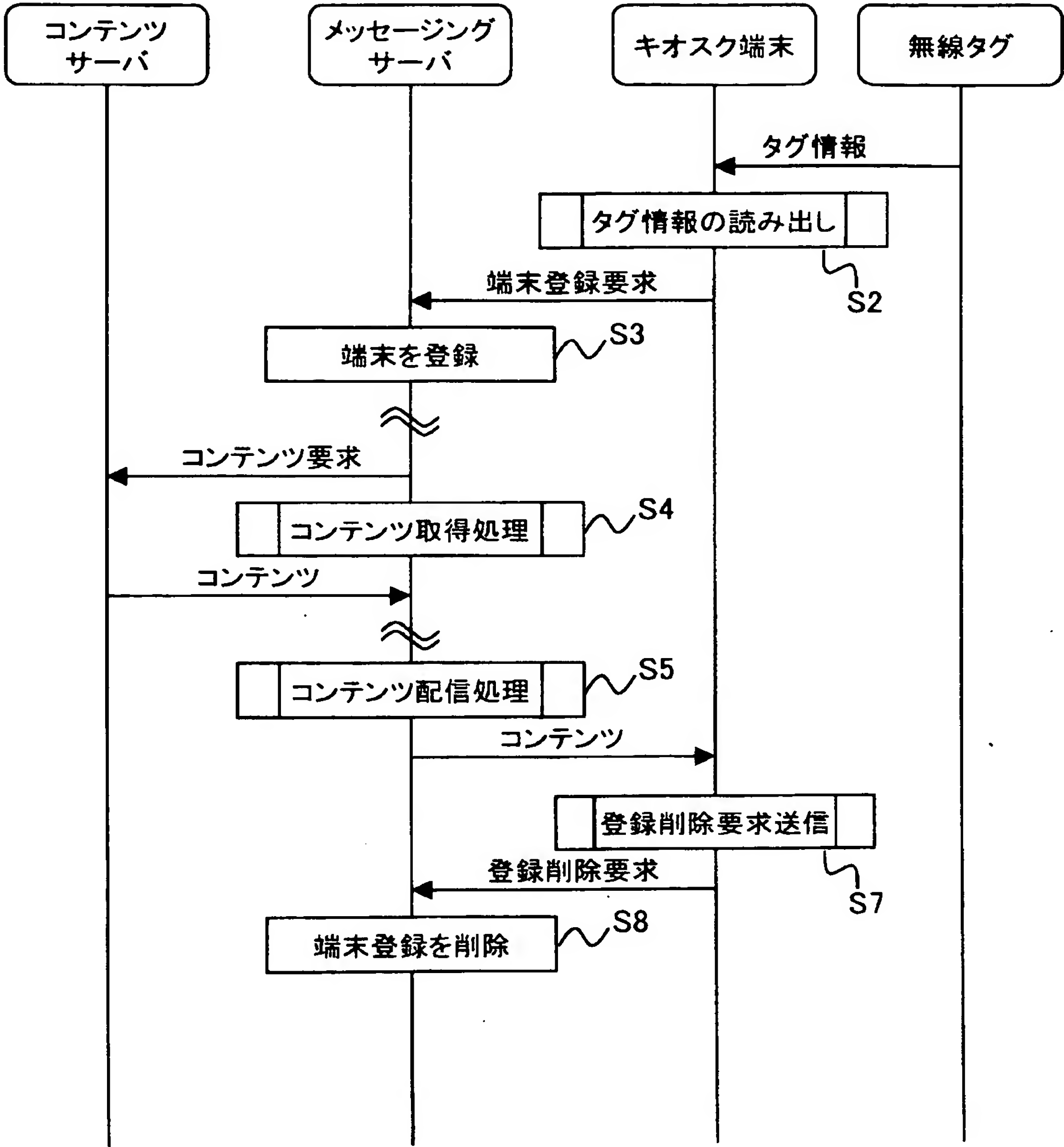


【図 1 1】

登録削除要求送信フロー



【図 12】



【図 1 3】

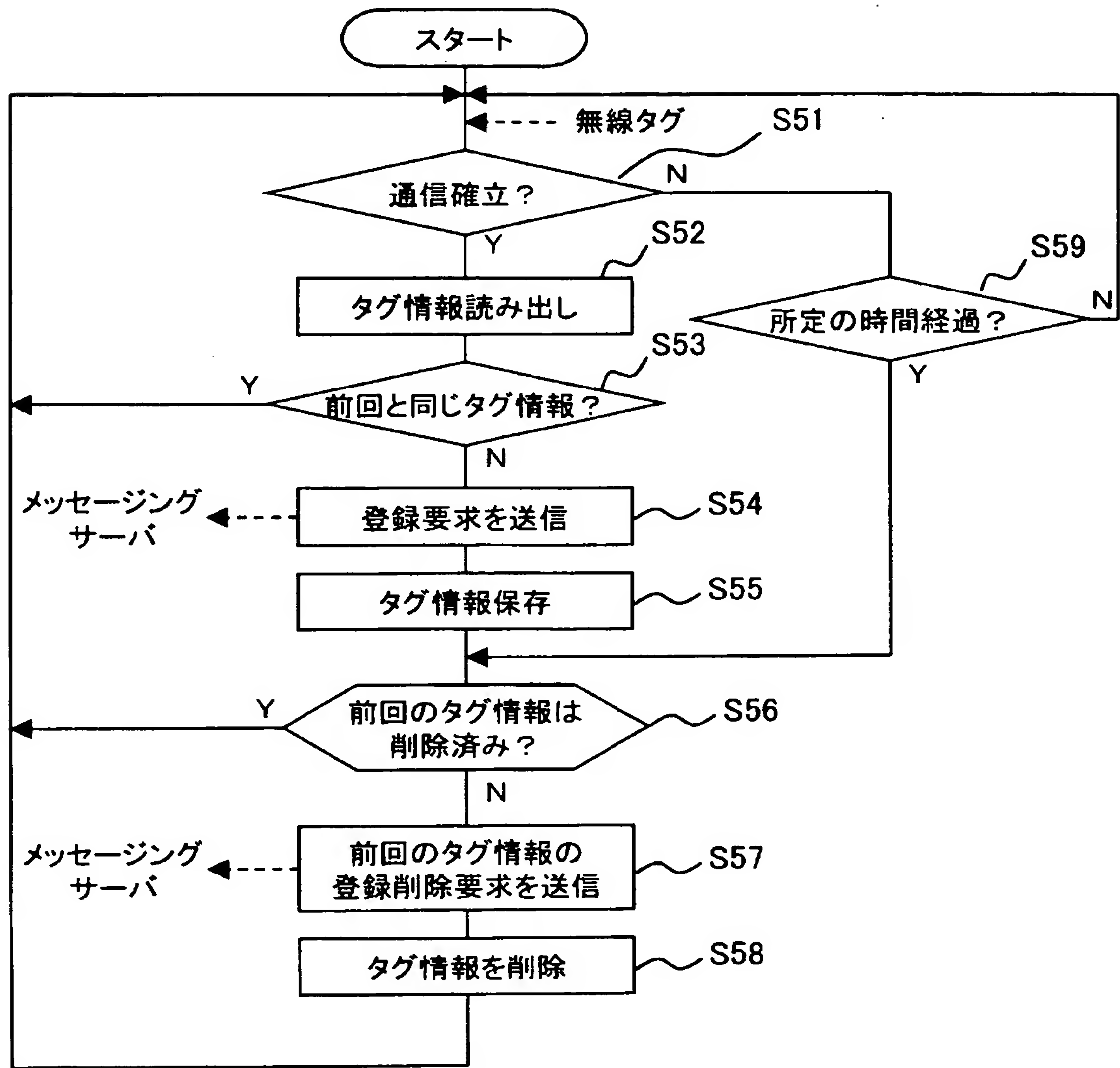
端末管理テーブル

ユーザID:ユーザA		
端末ID	端末アドレス	コンテンツ形式
T2	A2	HTML

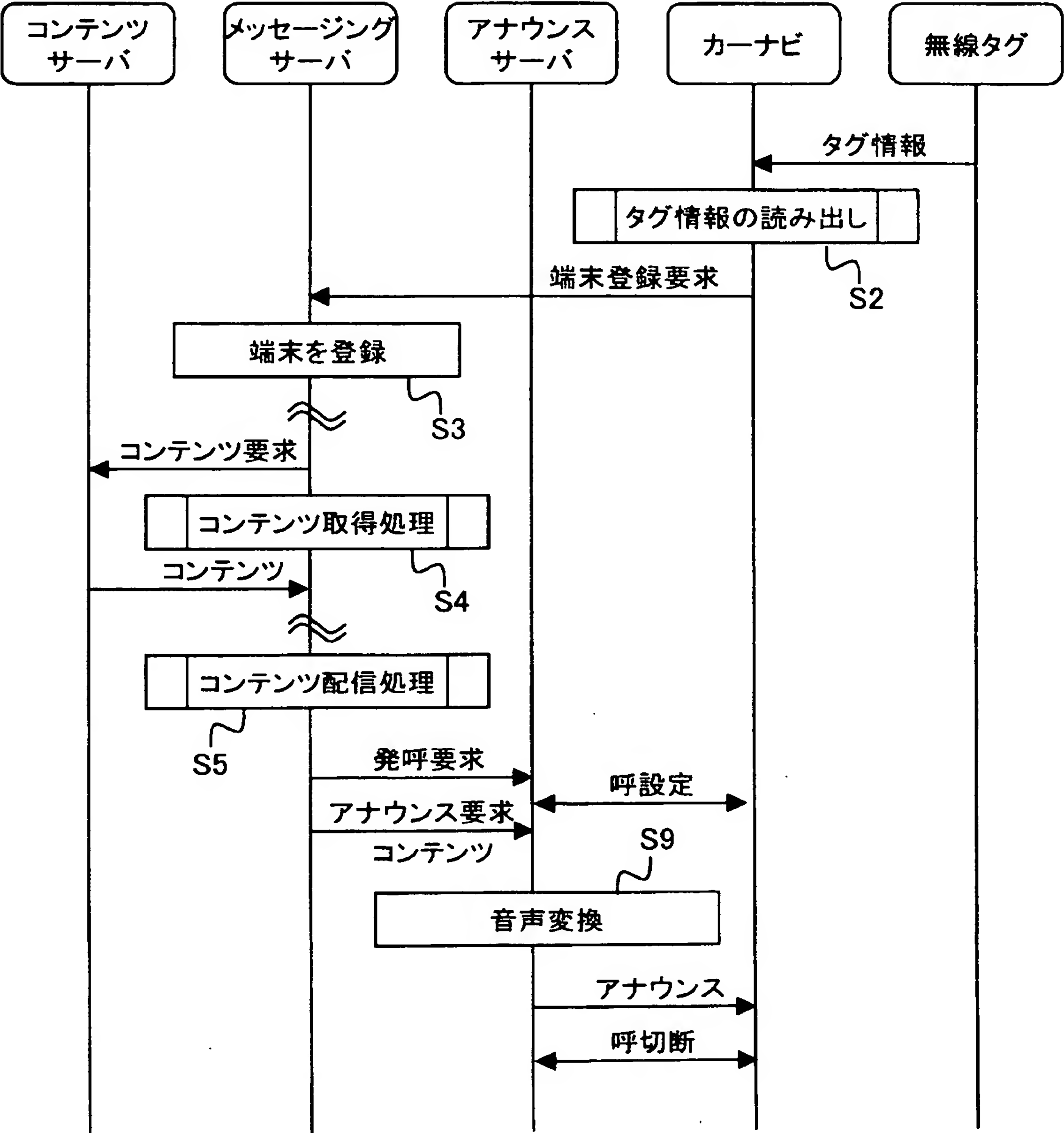


【図 1 4】

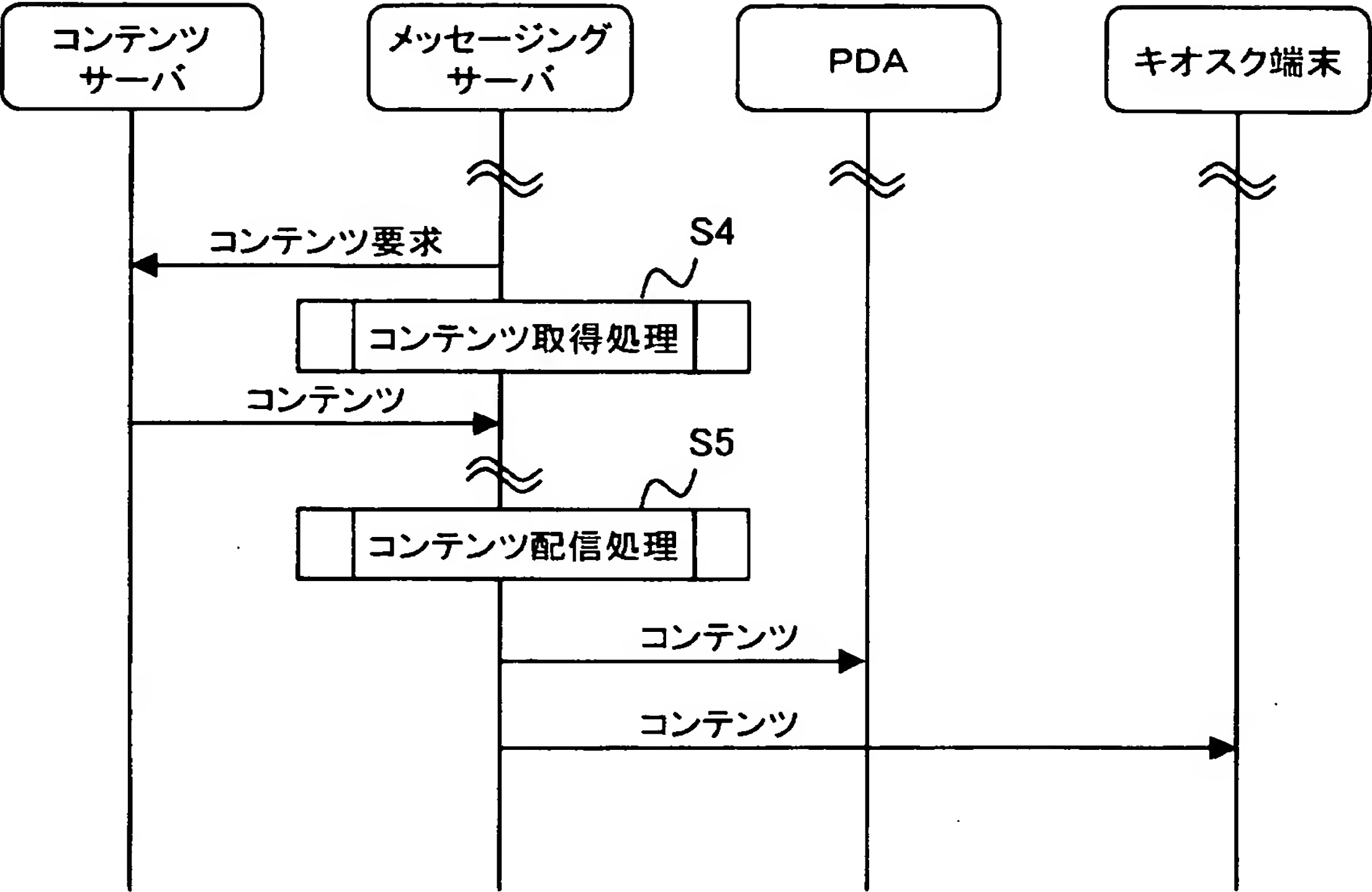
タグ情報読み出し／登録削除要求送信フロー



【図 15】



【図 1 6】



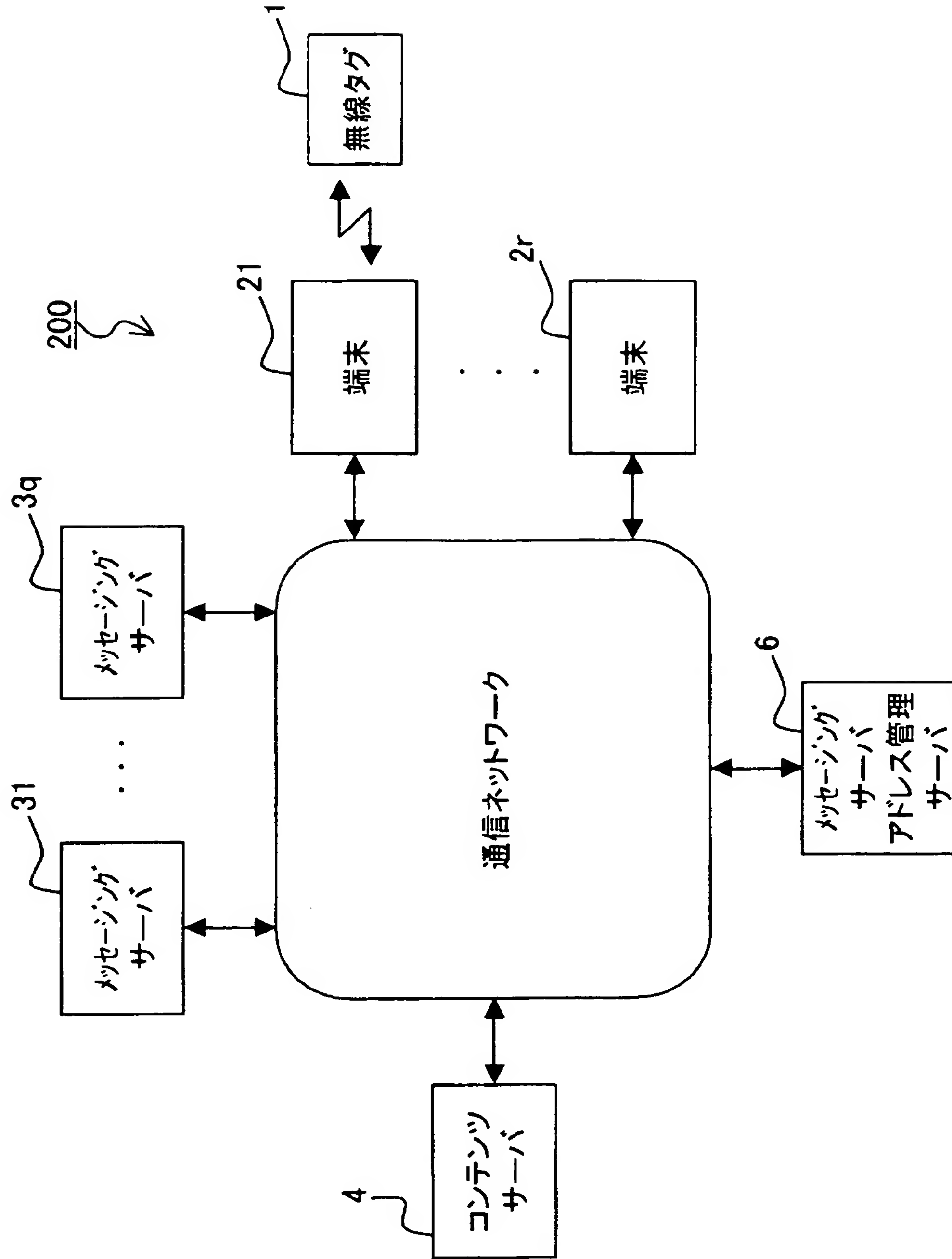
【図 1 7】

端末管理テーブル

ユーザID:ユーザA		
端末ID	端末アドレス	コンテンツ形式
T1	A1	HTML
T2	A2	テキスト

【図 18】

第2の実施の形態によるメッセージングシステムの全体構成

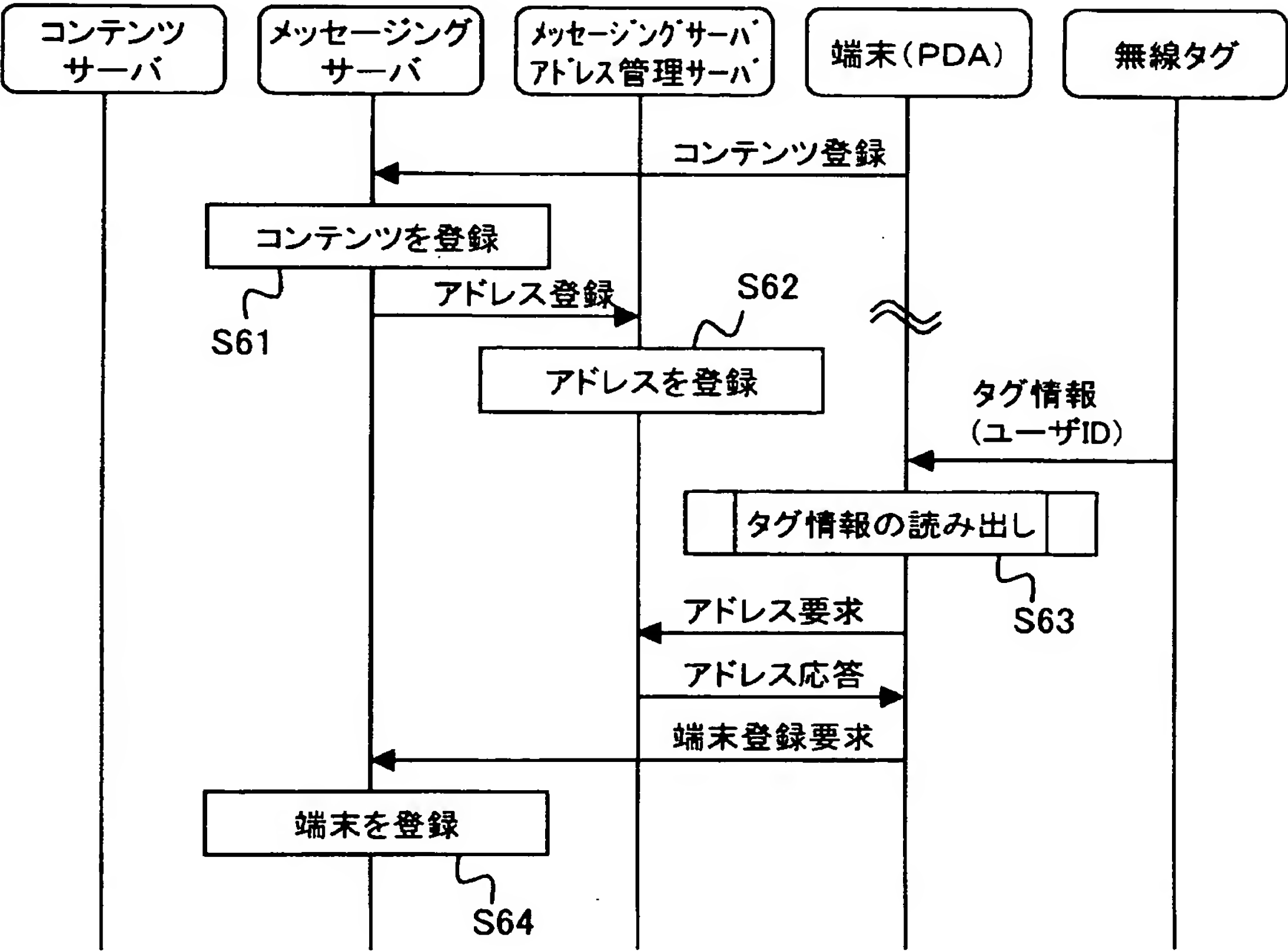


【図 1 9】

メッセージングサーバアドレス管理テーブル

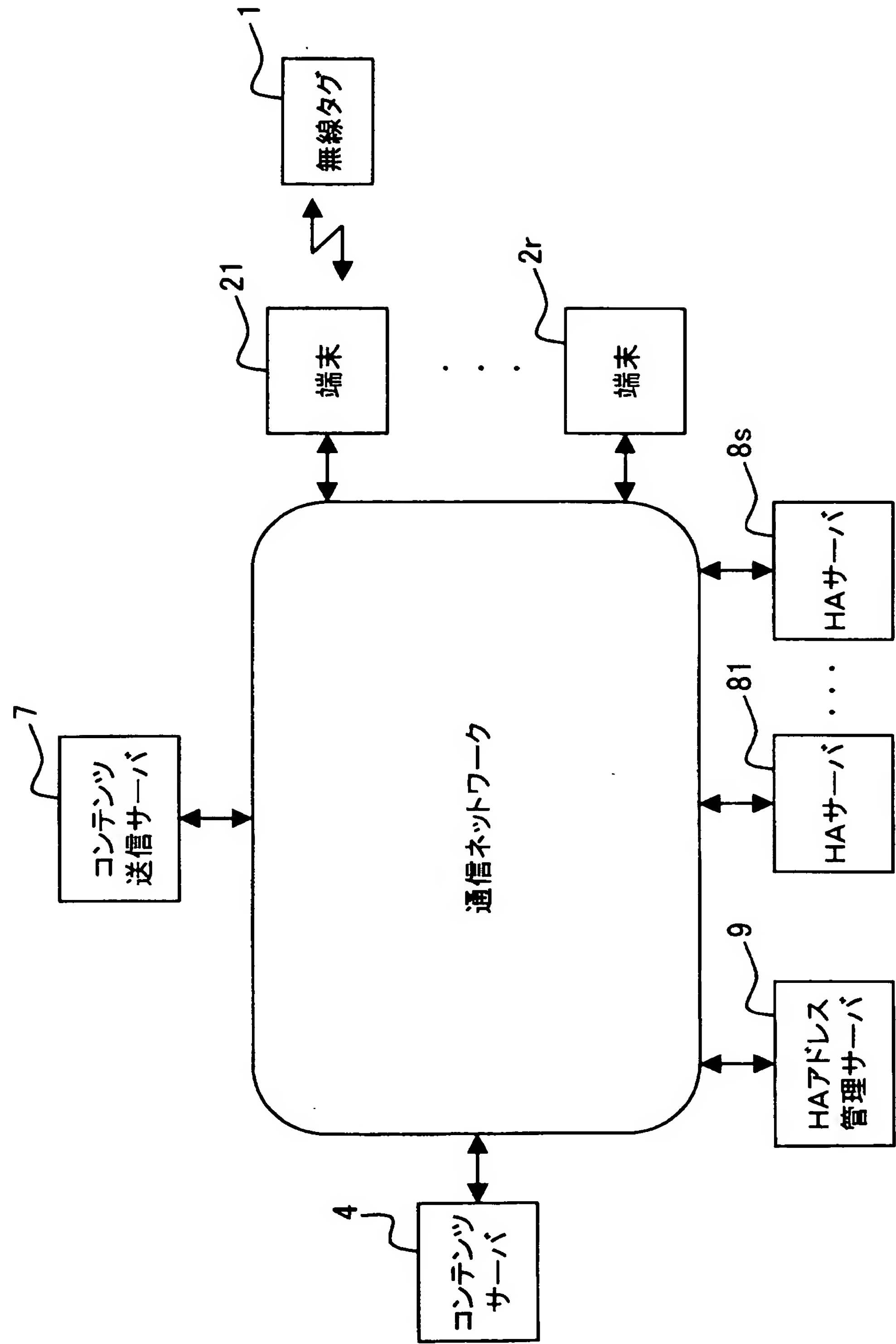
ユーザID	メッセージングサーバ アドレス
ユーザA	MA1
ユーザB	MA2
⋮	⋮

【図 2 0】



【図 2 1】

第3の実施の形態によるメッセージングシステムの全体構成





【図 2 2】

ユーザコンテンツ管理テーブル

ユーザID:ユーザA			
コンテンツアドレス(URL)	配信契機	更新時刻	配信条件
http://www.stock.com/z.html	更新時		—
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

【図 2 3】

端末管理テーブル

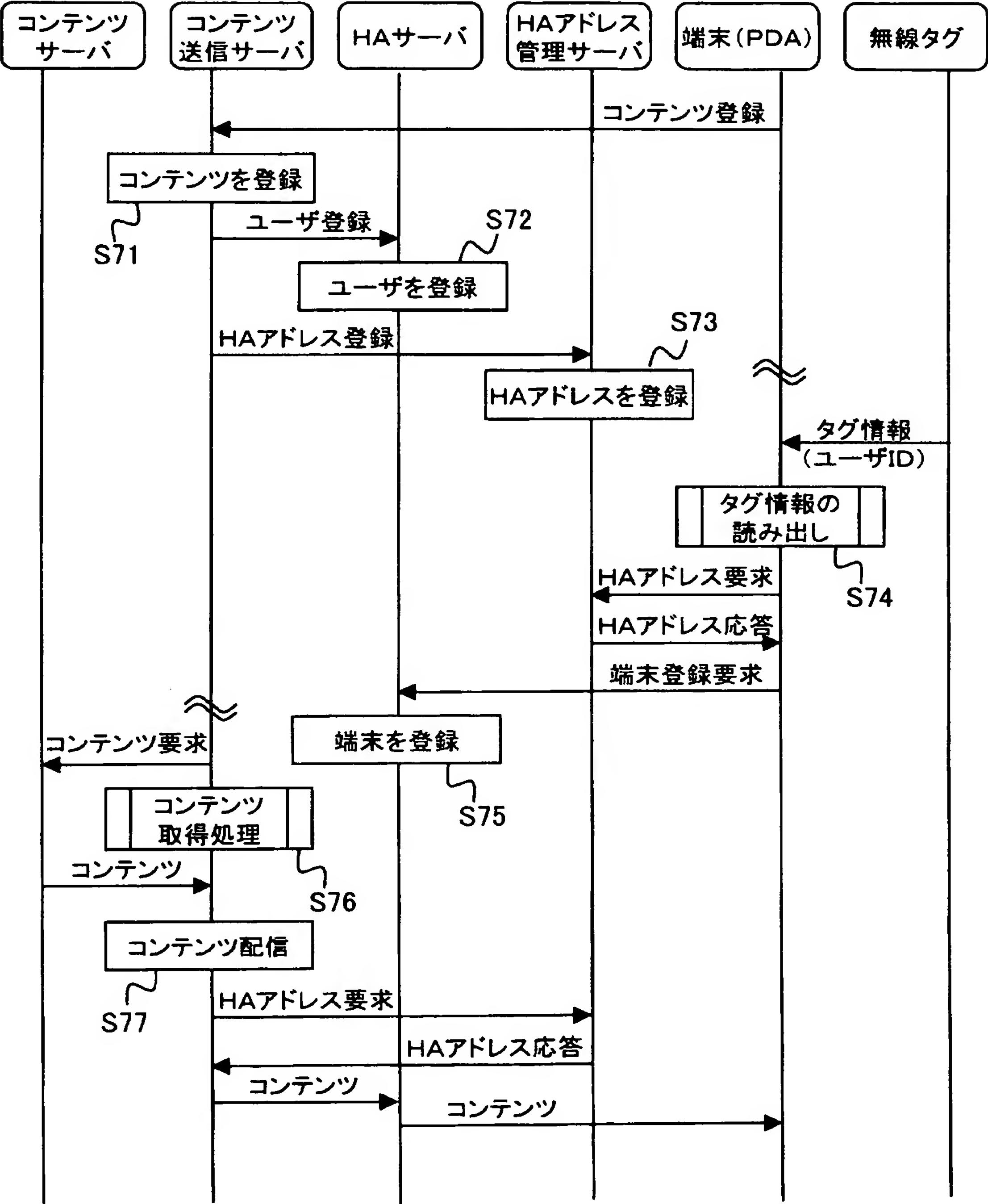
ユーザID:ユーザA				
端末ID	端末アドレス	コンテンツ形式	配信モード	配信回数
T1	A1	テキスト	シングル	0

【図 2 4】

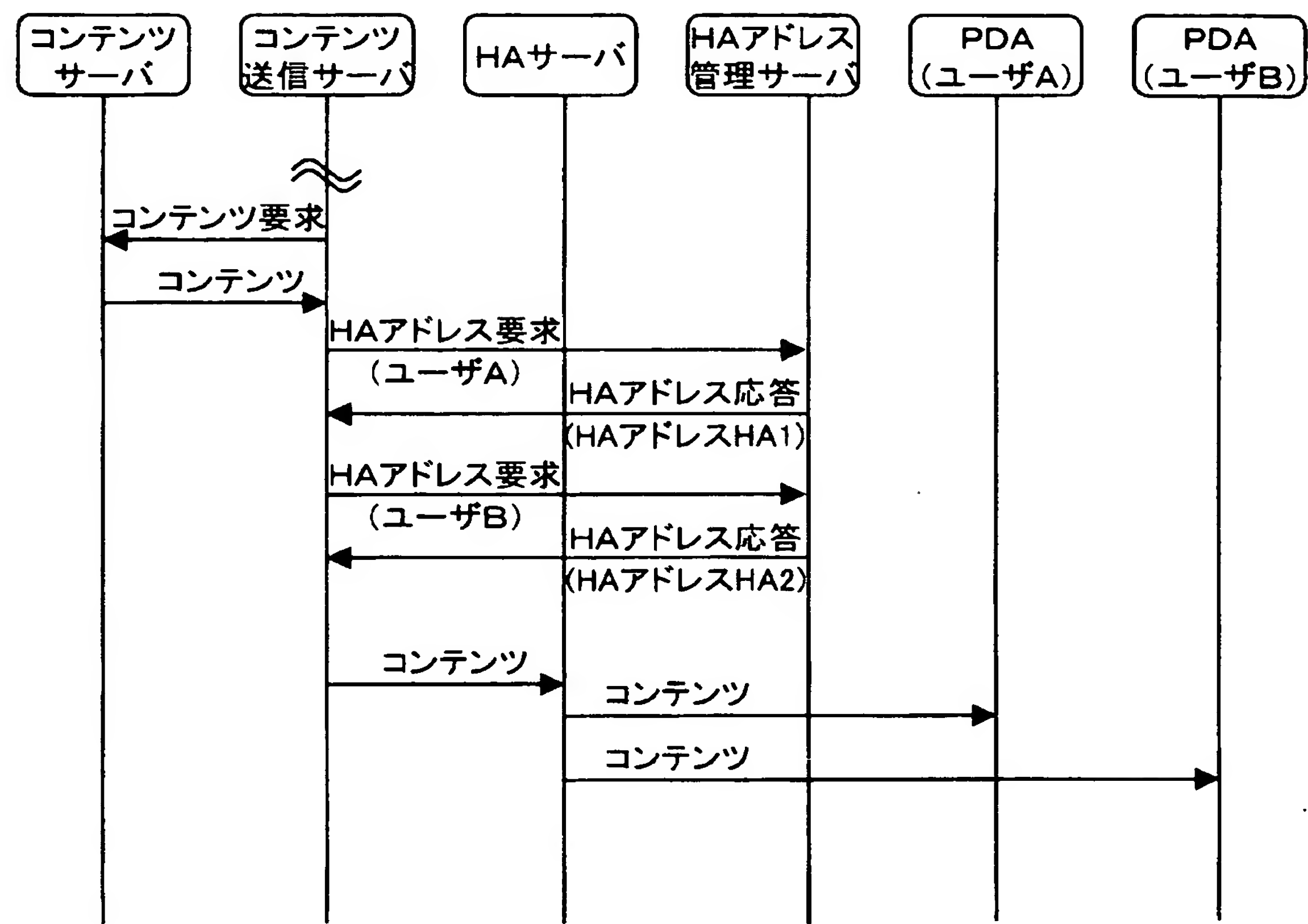
ホームエージェントアドレス管理テーブル

ユーザID	HAアドレス
ユーザA	HA1
・	・
・	・
・	・

【図 25】



【図 2 6】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ユーザの所望するテキスト，画像，動画等の種々のコンテンツを，ユーザの移動に伴って，ユーザの近傍に位置する端末に送信する。

【解決手段】 ユーザに携帯される無線タグ 1 は，内部メモリに記憶されたユーザ I D を無線信号で端末 2 1 に送信する。端末 2 1 は，無線タグ 1 からのユーザ I D をメッセージングサーバ 3 に送信する。メッセージングサーバ 3 は，ユーザ I D と該ユーザ I D のユーザの所望するコンテンツ（コンテンツサーバ 4 から取得）とを対応させて記憶し，端末 2 1 からのユーザ I D に対応するコンテンツを端末 2 1 に配信する。端末 2 1 は，配信されたコンテンツを表示装置等に出力する。ユーザの移動により無線タグ 1 も移動し，移動先の端末 2 i からメッセージングサーバ 3 にユーザ I D が送信され，端末 2 i にコンテンツが配信される。これにより，ユーザは移動先の端末でコンテンツの配信を受けることができる。

【選択図】 図 1

特願 2 0 0 3 - 0 2 9 7 7 9

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[ 0 0 0 0 0 5 2 2 3 ]

1. 変更年月日

1 9 9 6 年 3 月 2 6 日

[変更理由]

住所変更

住 所

神奈川県川崎市中原区上小田中 4 丁目 1 番 1 号

氏 名

富士通株式会社